

Architecture Portfolio

Taichi Ushikubo 2023-2024



うしくぼ たいち
丑久保 太一

- 専門学校 東京デザイナー・アカデミー
建築デザイン学科 建築デザイン専攻
- 出身地 : 群馬県高崎市
- 生年月日 : 1999年8月29日
- 趣味 : ランニング / サッカー / UVERworld
- スキル : Vectorworks / Rhinoceros / Photoshop
- 資格 : 普通自動車第一種免許
- 志望業界 : ディスプレイ業界、ハウスメーカー、施工管理職

私は小さい頃からサッカーをプレーしており、スタジアム建築が大好きでした。実際に様々なスタジアムに足を運ぶなかで、スタジアムそのものだけでなく、そこに辿り着くまでの動線や雰囲気演出などの要素に魅力を感じるようになり、空間デザインに興味を持ち、入学しました。

卒業後は、施工に携わる仕事がしたいと考えており、建築士や施工管理技士の資格取得にも力を入れていきたいです。

Contents

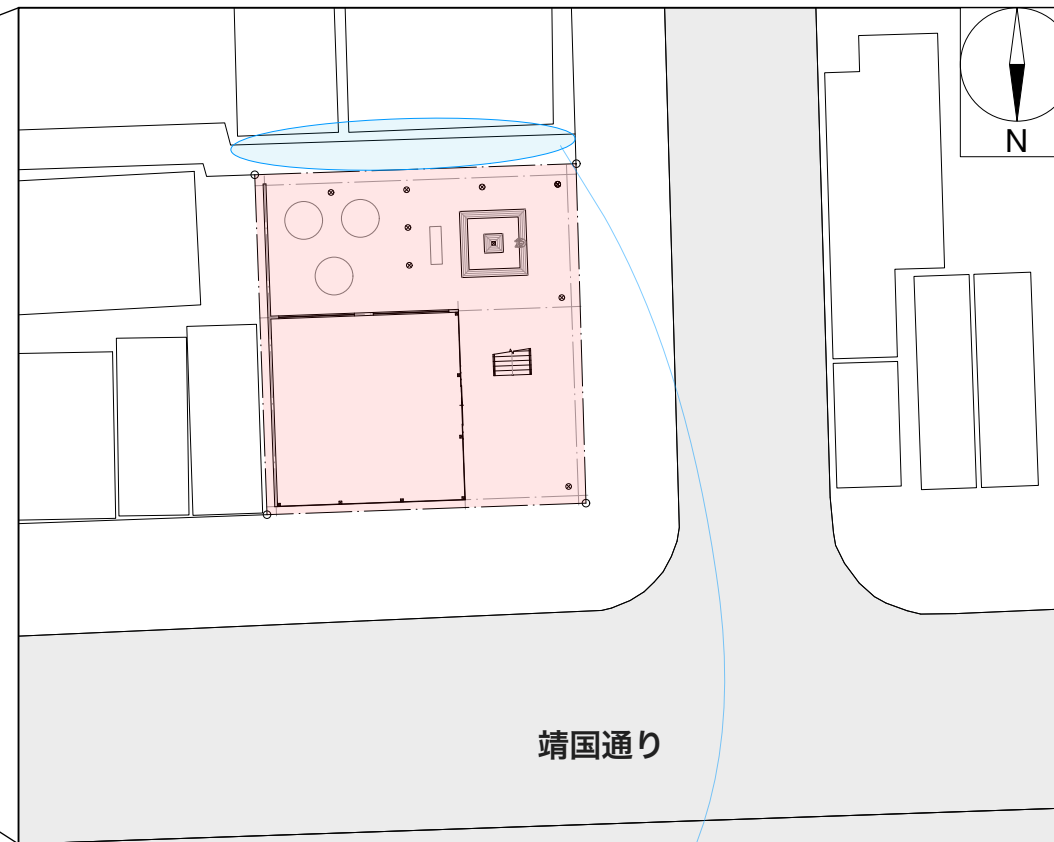
- 01.** 「休みのカタチ」 -休憩所設計- **P.3-9**
- 02.** 「土間のある暮らし」 -住宅設計- **P.10-14**
- 03.** 「小学生の放課後セカンドハウス」 -リノベーション- **P.15-20**
- 04.** 「屋台づくり」 -ワークショップ- **P.21-24**
- 05.** その他の活動
 - 「トレース」 **P.25-26**
 - 「階段の設計」 **P.27**
 - 「幼稚園設計」 **P.28**

01. 休みのカタチ



Site

東京都千代田区神田神保町1-3-2 (現:書泉グランデ)

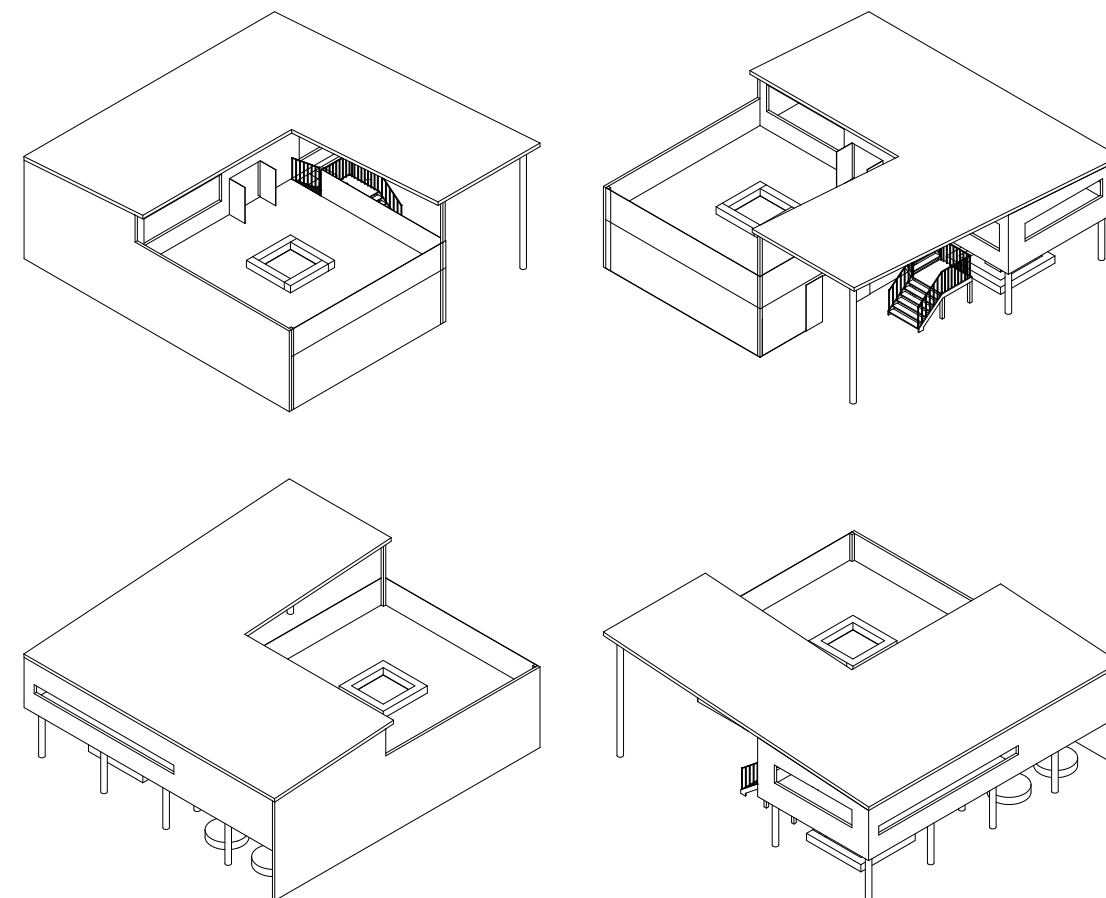
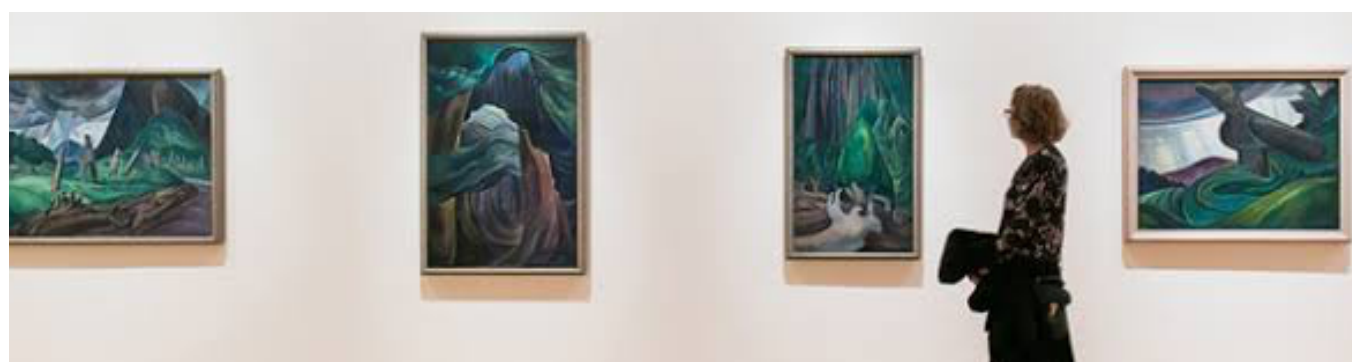


北西側、靖国通りを挟んで見た敷地。敷地の並びには古書店が多く、周辺にはスポーツショップや楽器店、教育機関、企業などがあるためフリースペースの需要は高く使用用途は多岐にわたると推測。



敷地南側は喫茶店などが並ぶレトロな雰囲気の良い細い路地。威圧感を出さず、路地との連続性を感じさせるため、高さや素材感を検討していく。

Concept



神保町に休憩スペース+αを設計するという課題。

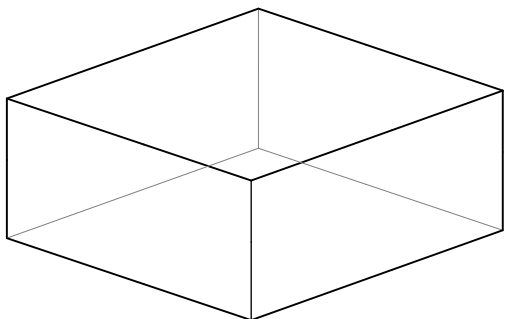
生活スタイルの多様化が進むなか、
人々の「休む」に対する認識は同じなのか？
そんな疑問をもち、休みのカタチに焦点を当て、設計に取り組んだ。

「+α」...神保町という様々な文化、教育機関、企業が
集まる街の特色を活かし、多用途で利用できるフリースペース。

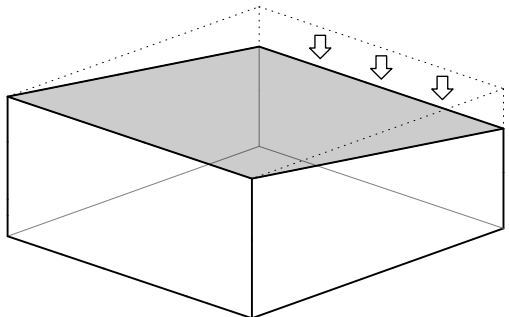
- ・視線を感じずにくつろぎたい休憩スペース
 - ・注目を集めたいフリースペース
- 対照的な二つの空間を違和感なく共存させることをテーマとした。

Diagram

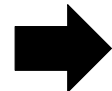
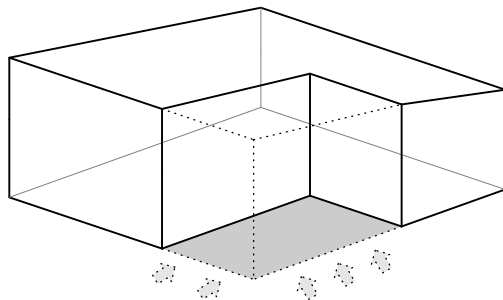
1



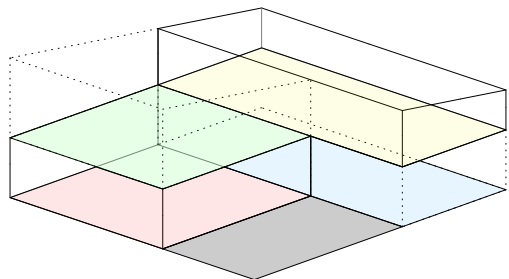
2



3



4

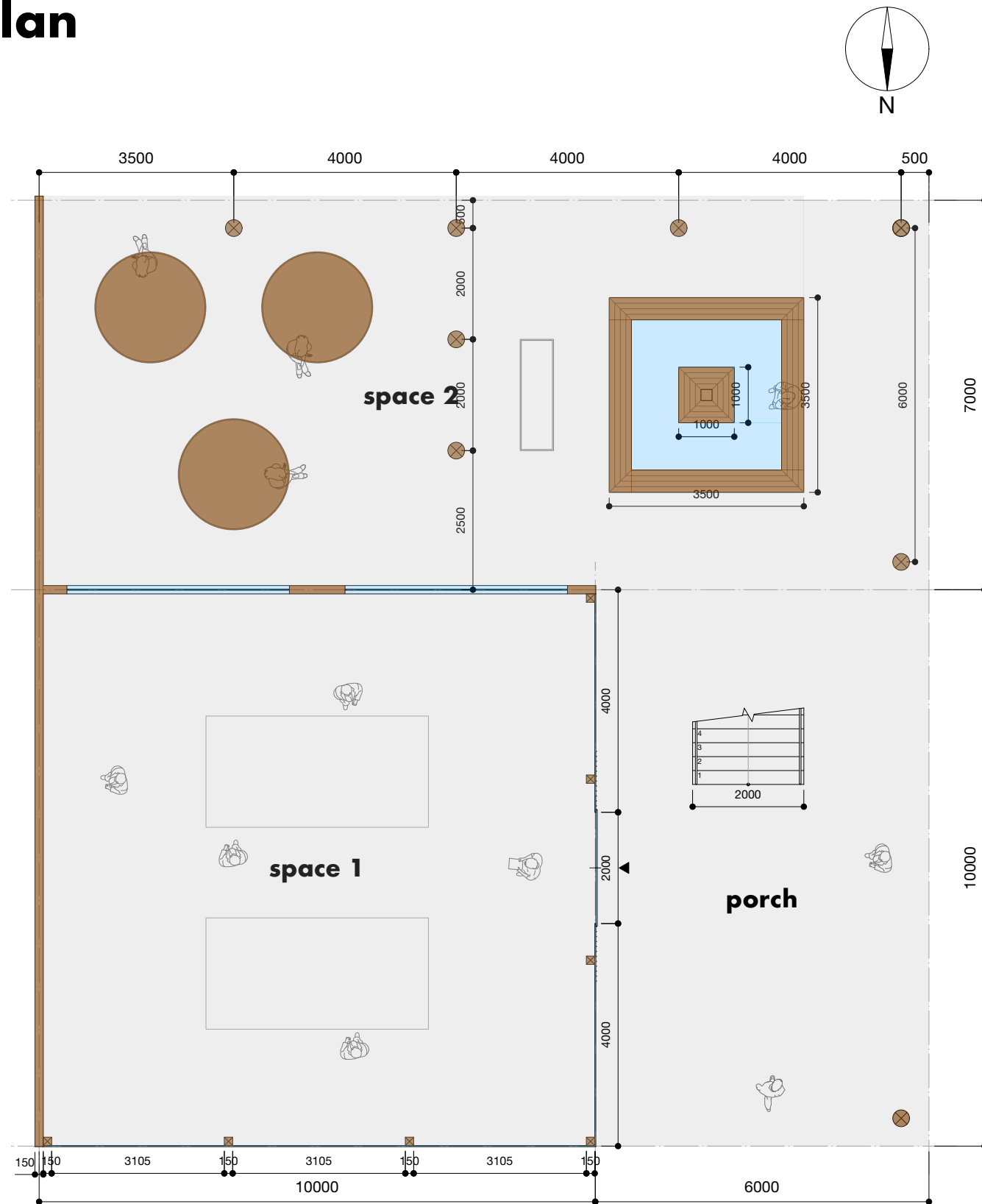


大通りに開けた印象、
路地側に落ち着いた印象をもたせる為、
高さに差をつける。

人の足を止める導入部分を設ける。

「休みのカタチ」を表現する為、
性格の異なる空間を4つ設ける。

Plan



1st floor plan : scale 1/100

porch



目を引き、人の足を止めるためのポーチを設ける。
ここから各スペースにアクセスする。

space 1

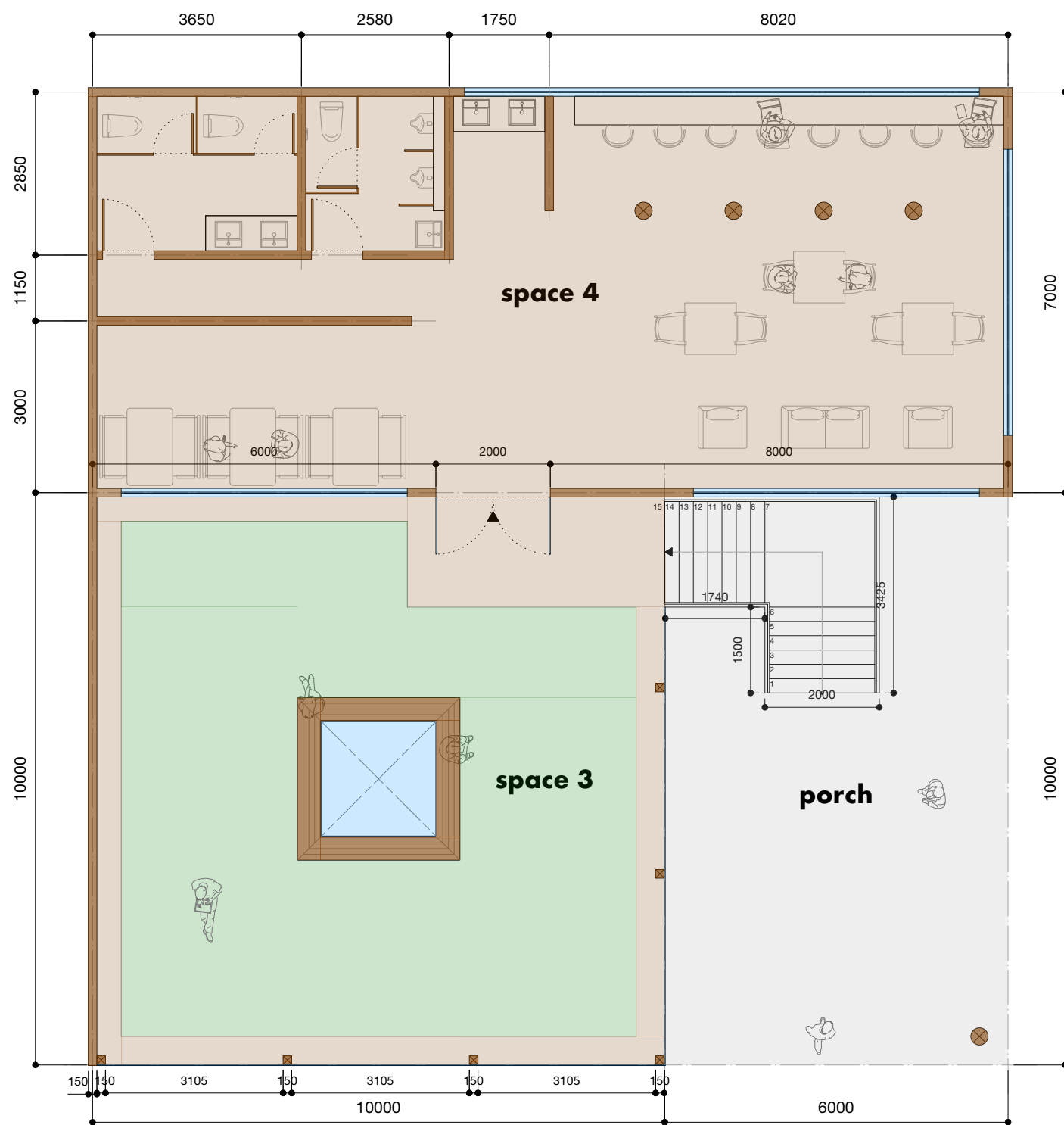
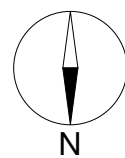


展示、ワークショップ等、多用途で使えるフリースペース。
大通り側をガラス張りにすることで、人目につくように設計。

space 2



閑静な路地側の休憩スペース。
広いピロティの空間に足湯やベンチを設けることで
通りすがりの人もふらっと立ち寄れるように設計。



space 3



2階の屋外休憩スペース。
芝生の上でゆったりと過ごすことができる。
中央部分の天窗は1階のフリースペースへの採光や
空間の繋がりを感じさせる設計。

space 4



2階の屋内休憩スペース。
長時間の休憩やちょっとしたデスクワークを
行えるような設計。

Architectural model



02. 土間のある暮らし



Site, Concept

東京都文京区小石川3丁目20-11

- 敷地面積：110㎡
- 用途地域：準工業地域
- 建蔽率：60%
- 容積率：300%
- 防火指定：準防火地域

- 家族構成
祖母、父母、子供2人の5人家族

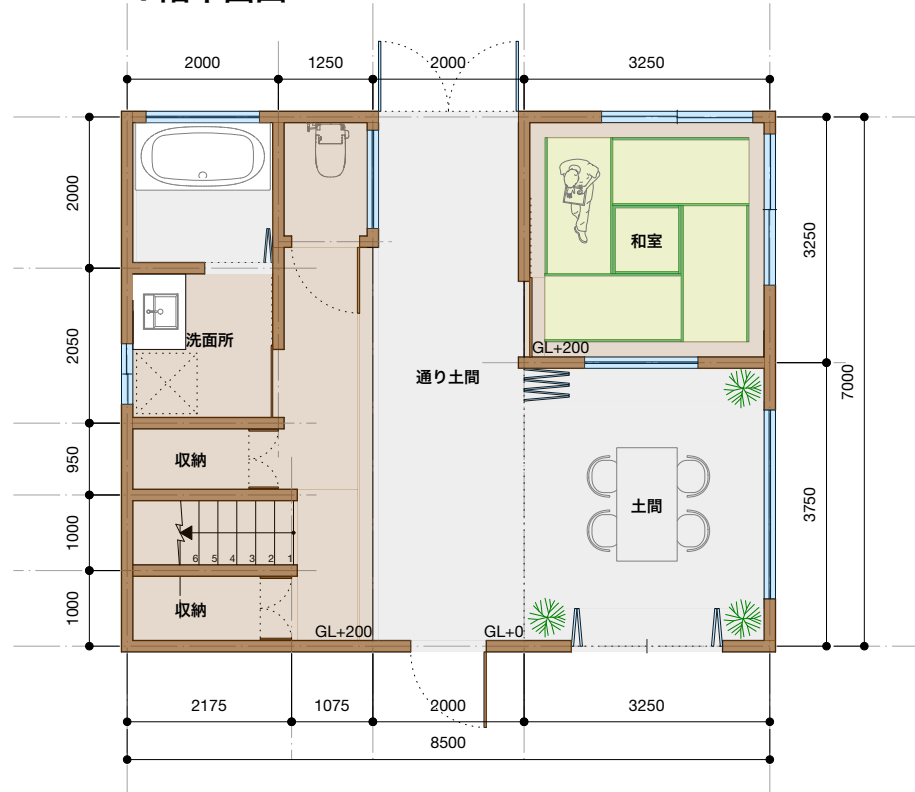


敷地は哲学者、井上哲次郎の旧宅跡に位置する井上公園の一部。
旧宅は第二次世界大戦で消失したが、書庫であった土蔵が現在も残る。
この歴史的価値のある蔵から「和」を連想し、土間のある住宅を設計する。

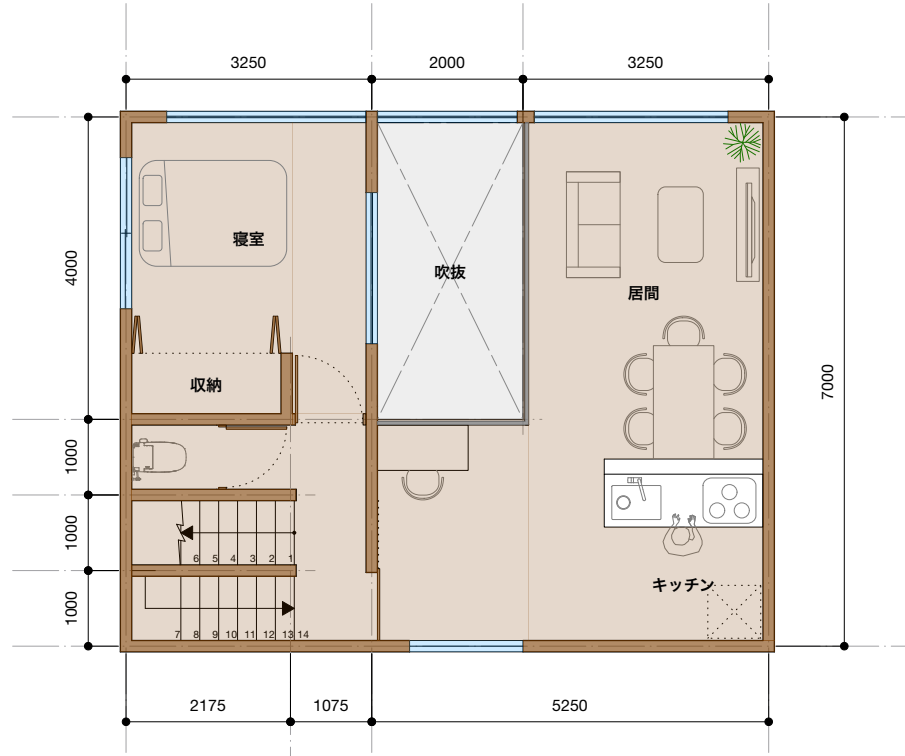
また敷地・公園より北側は一段低くなっている地形のため、
都内の住宅街ではあるが、眺望が期待できる。

Plan

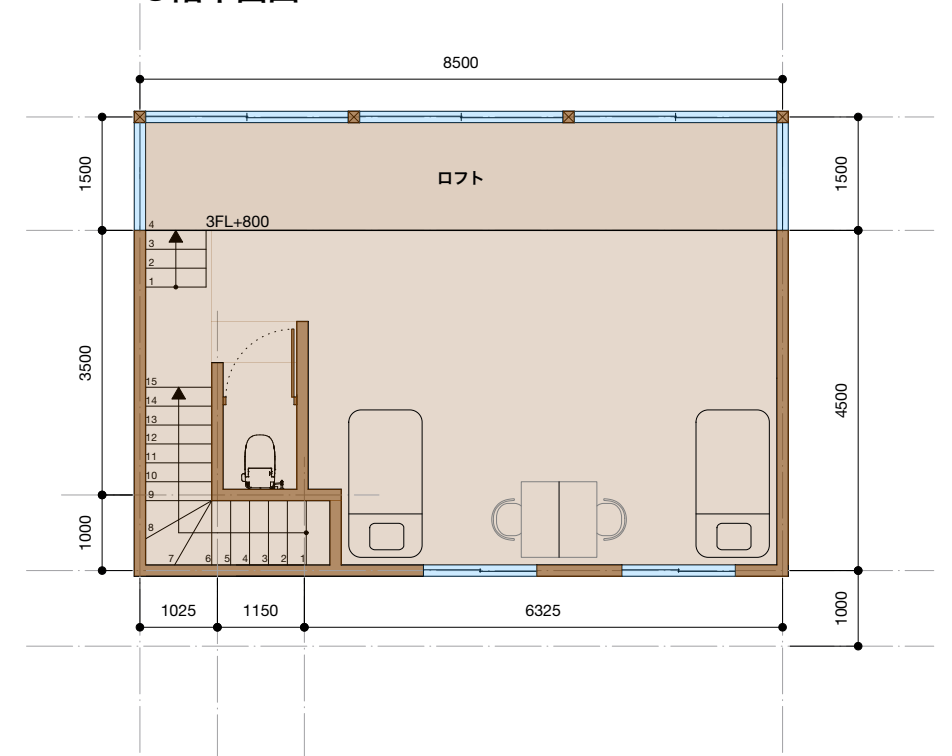
1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100



3階平面図 S=1:100



設計途中の外観イメージ



北側は眺望を意識し、ガラス張りを多く採用。
 1階の土間では家族だけでなく、友人と気軽に集まることができる。
 3階は部屋で区切らず、空間を広々使うことで、家自体の狭さを感じさせないように設計。

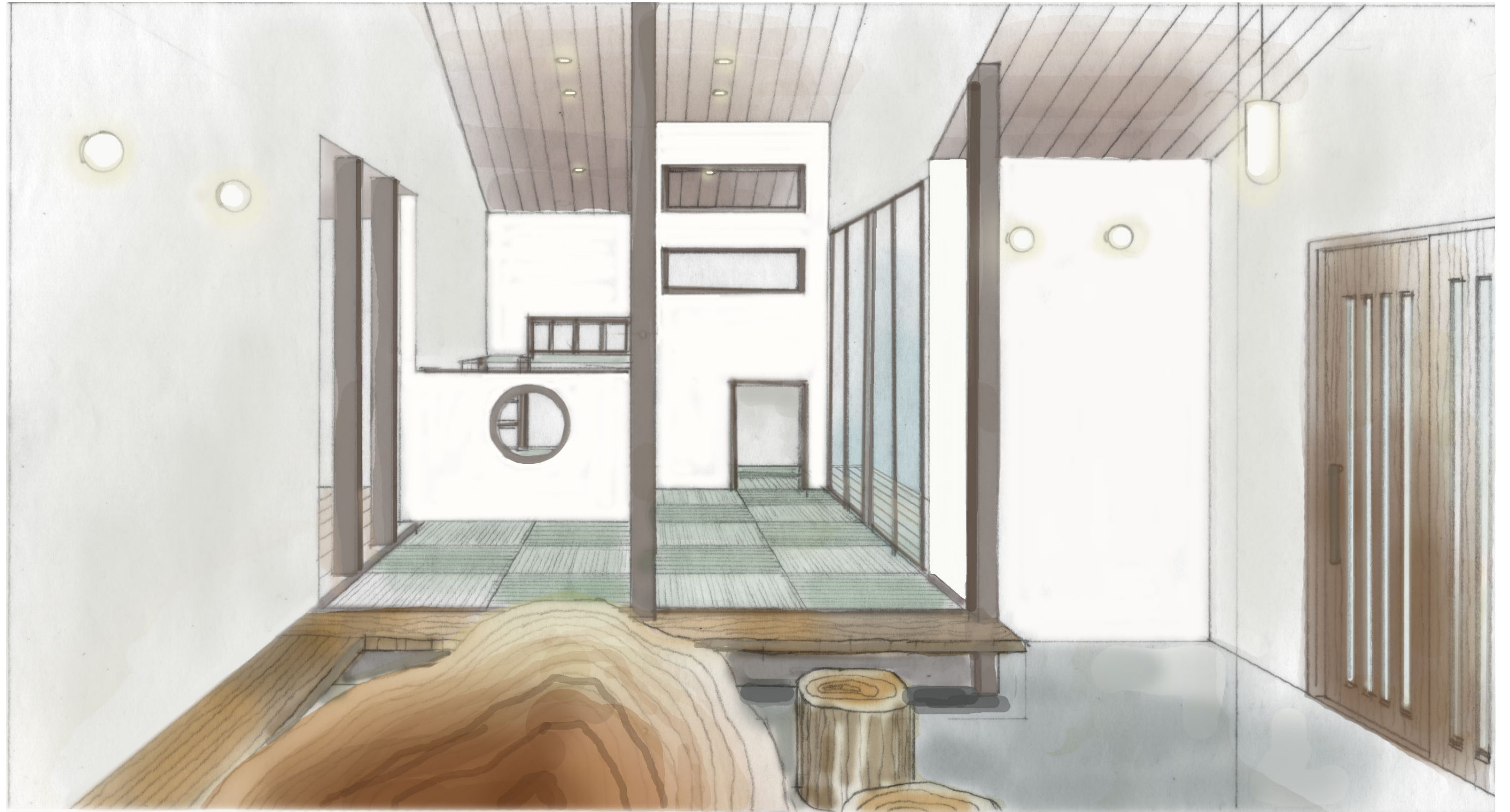
1階イメージパース



3階ロフトイメージパース



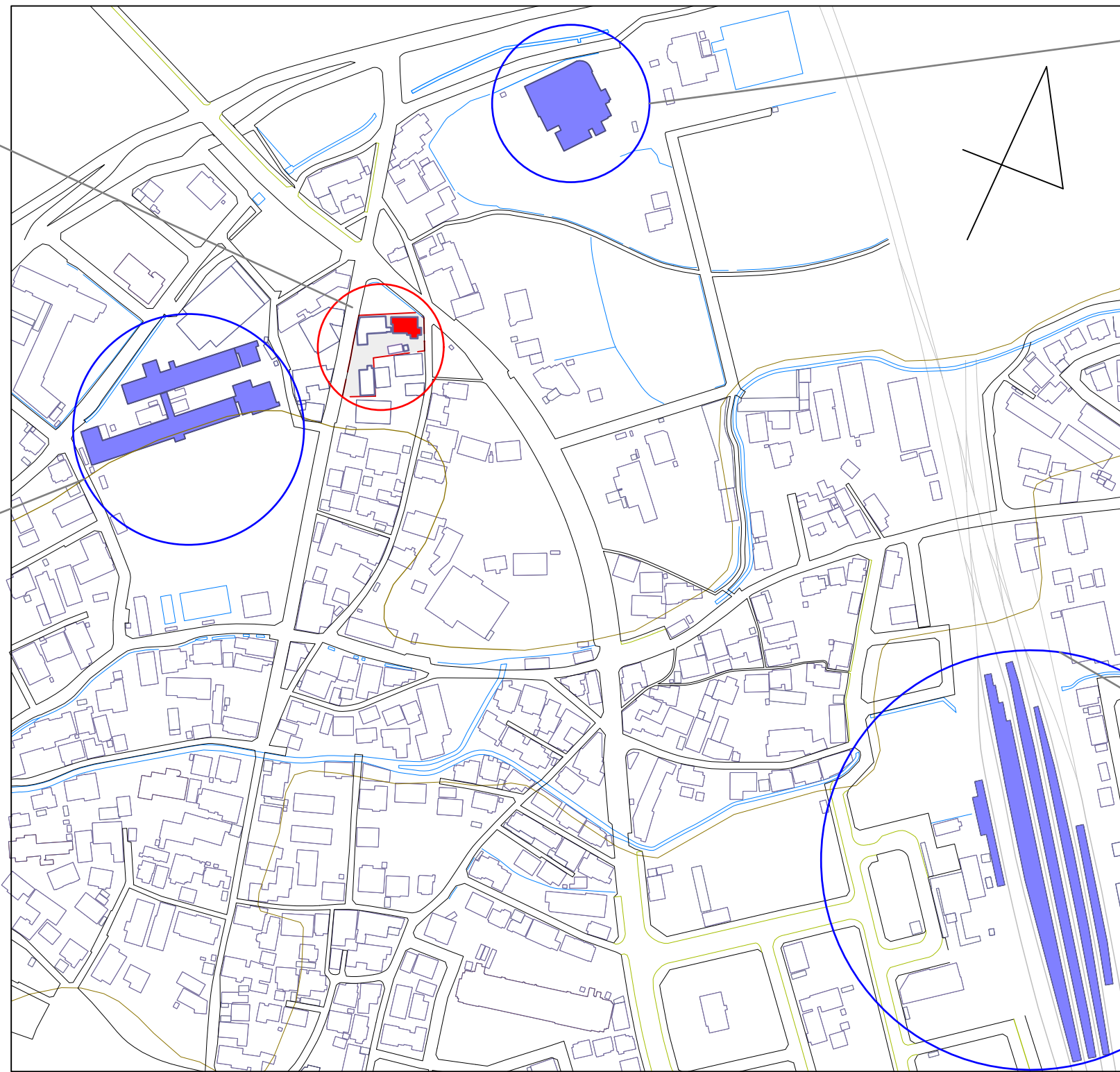
03. 小学生の放課後セカンドハウス



Site



対象の敷地
 三重県松阪市嬉野中川町1034 付近
 敷地面積：1052㎡
 計画既存建物面積
 一階：150㎡ 二階：50㎡



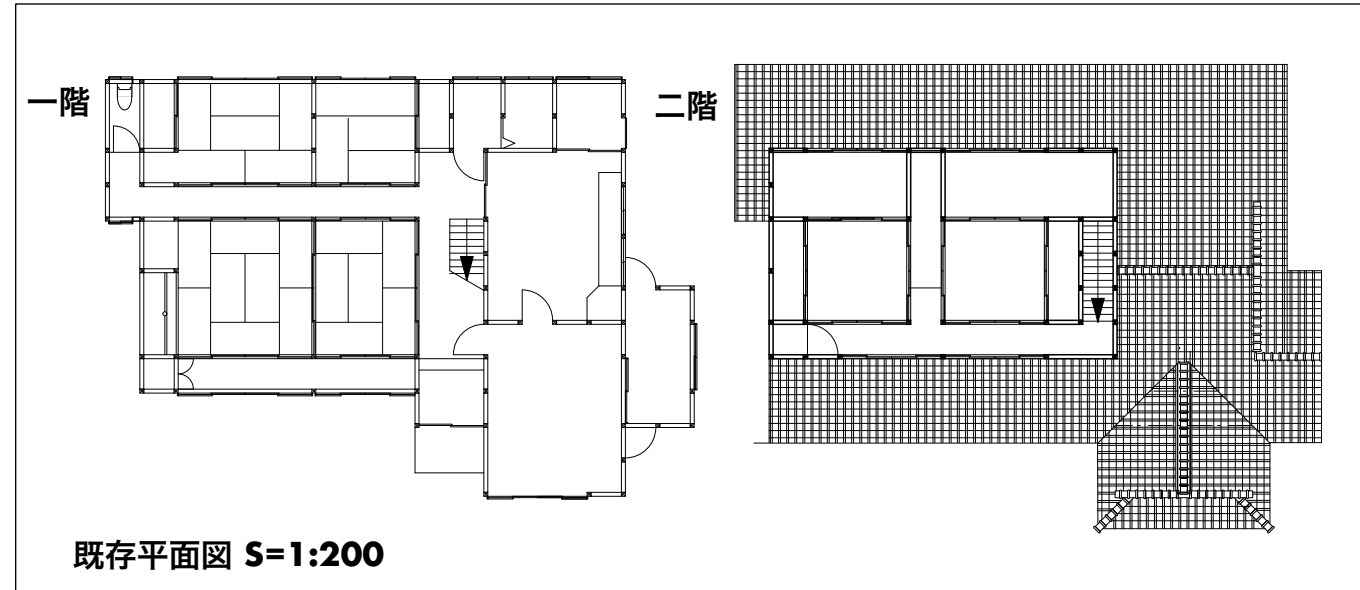
松阪市立中川小学校
 敷地の南西約50mの場所に位置する。
 過去15年間の全校生徒数平均 約600人。
 今後の少子化を考慮しても
 安定した利用者の循環が可能であると推測。



中川コミュニティセンター
 敷地北側約200mの場所に位置する公民館。
 子供から高齢者まで、幅広い層の利用者。
 学童保育の場でもある。
 「公共施設と住宅」という違いから、
 住宅でしかつけれない落ち着ける環境を目指す。



伊勢中川駅
 敷地東側約400mの場所に位置する。

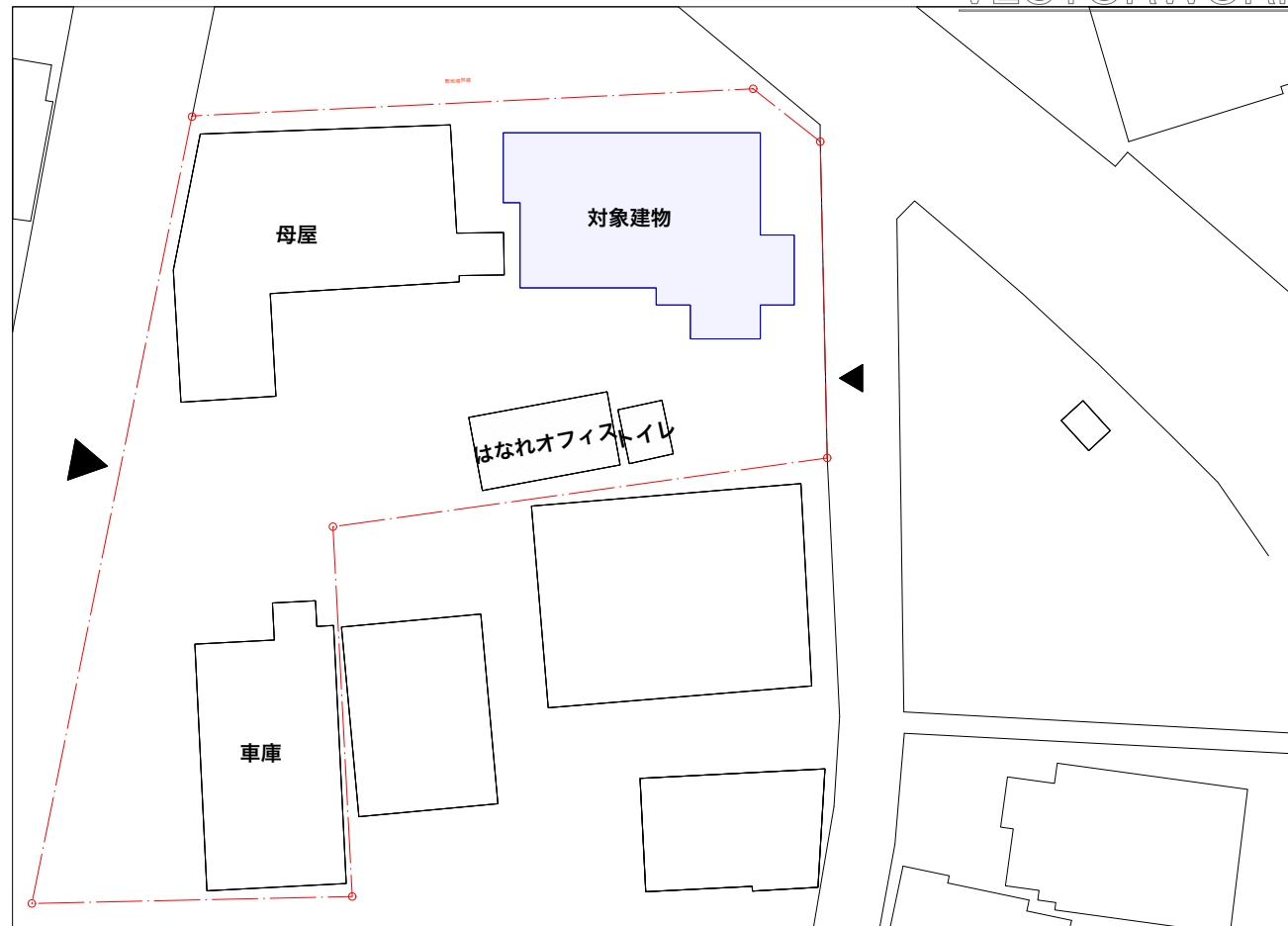


敷地には夫婦が2人で住んでいる。敷地内には夫婦の住む母屋、以前祖父の住んでいた住宅、夫が作業場として利用している小屋が分棟して建っている。今回は、祖父の住んでいた住宅を中心に改修の計画を行う。木造二階建てで現在は利用されていない。

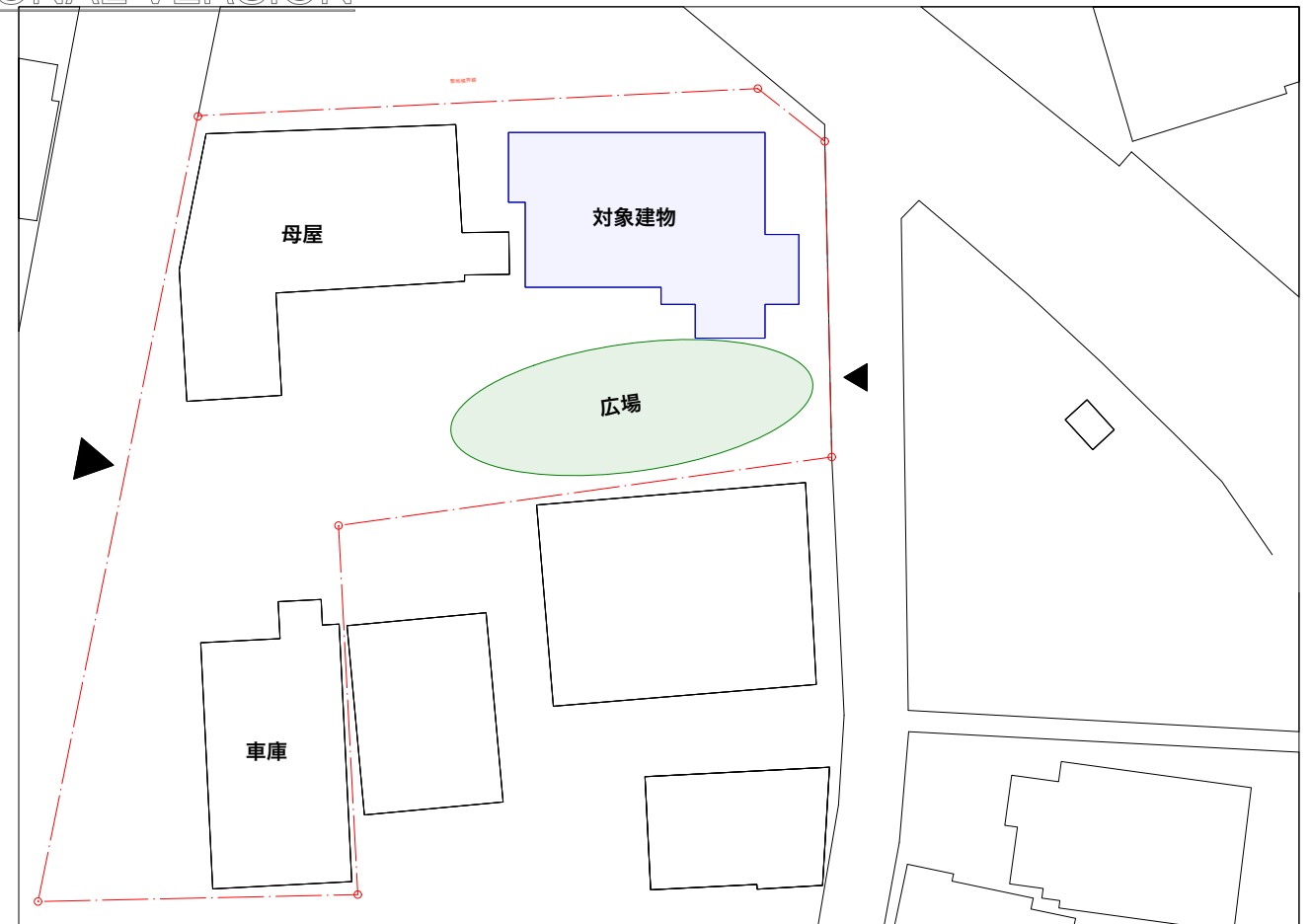
家族構成：父母（60代）が居住。娘夫婦（30代）、娘（20代）が短期・長期滞在することがある。
設計条件：娘夫婦・娘が滞在する際の住宅機能に加え、地域に開かれた図書館機能を持った施設を設ける。

Concept

敷地周辺に位置する小学校の児童に向けた「放課後の溜まり場」となる空間。「秘密基地」のような雰囲気をもつ設計。
地域の人々全体を対象とした場合、**利用者の固定化**を招き、徐々に廃れていくのではないかと考えた。
そこで小学校をひとつのコミュニティとして捉え、**入学・卒業という人の循環を活かし、利用者の新陳代謝を促していく。**
また、共働き世帯の増加による学童などの需要が高まっていること、子どもの遊び方の変化なども考慮し、テーマ・コンセプトを設定した。

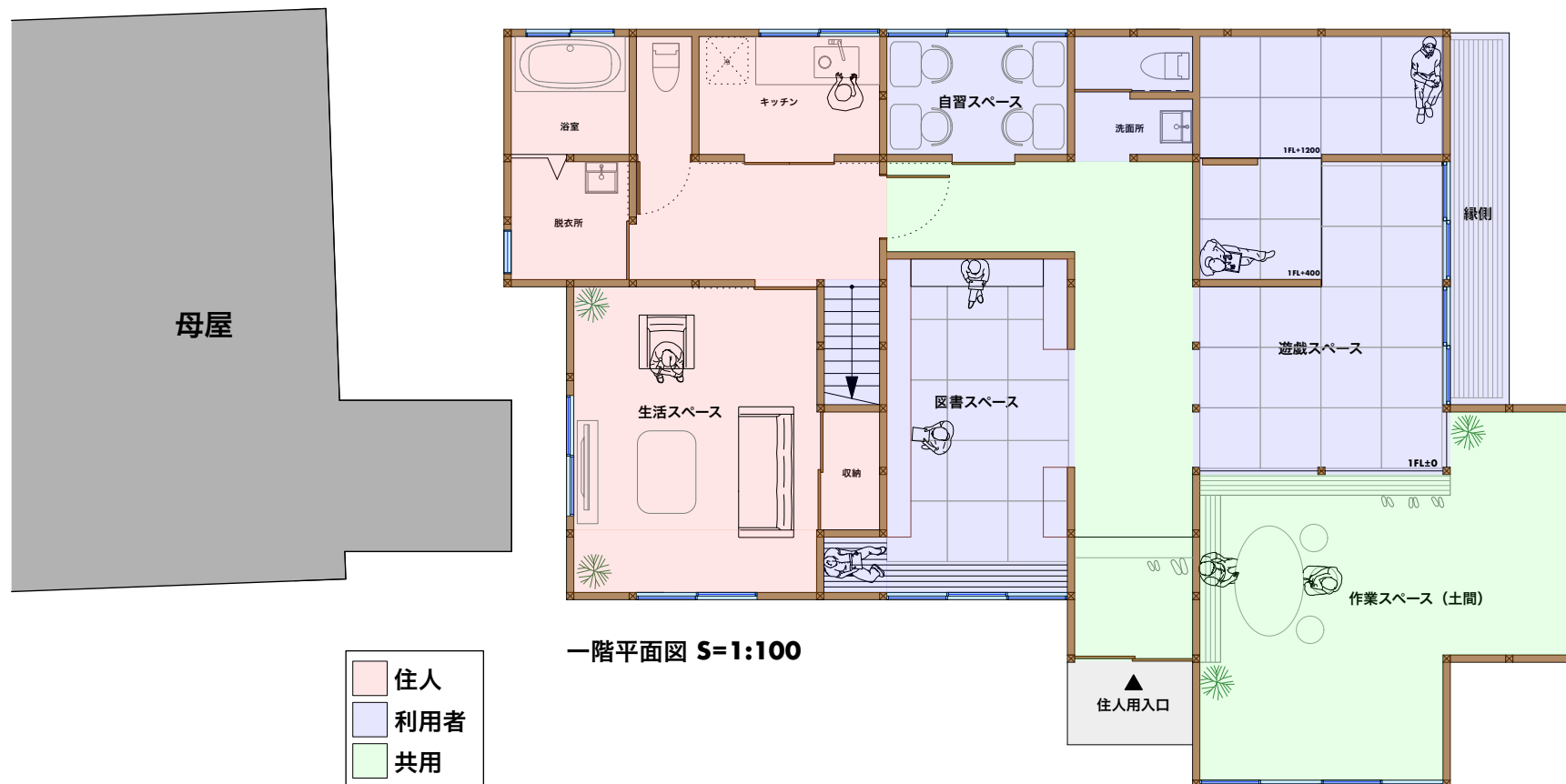


変更前配置図



変更後配置図

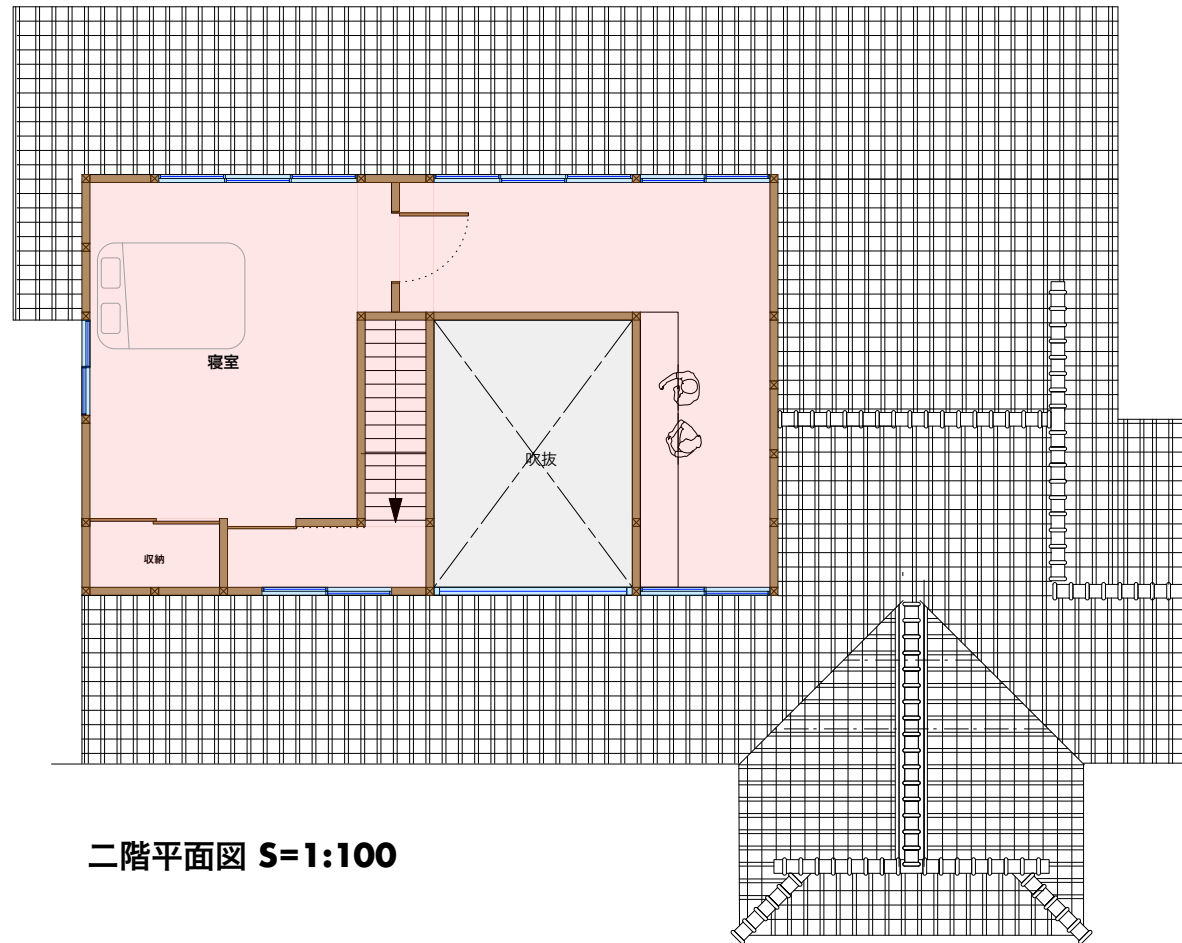
S=1:400



一階平面図 S=1:100

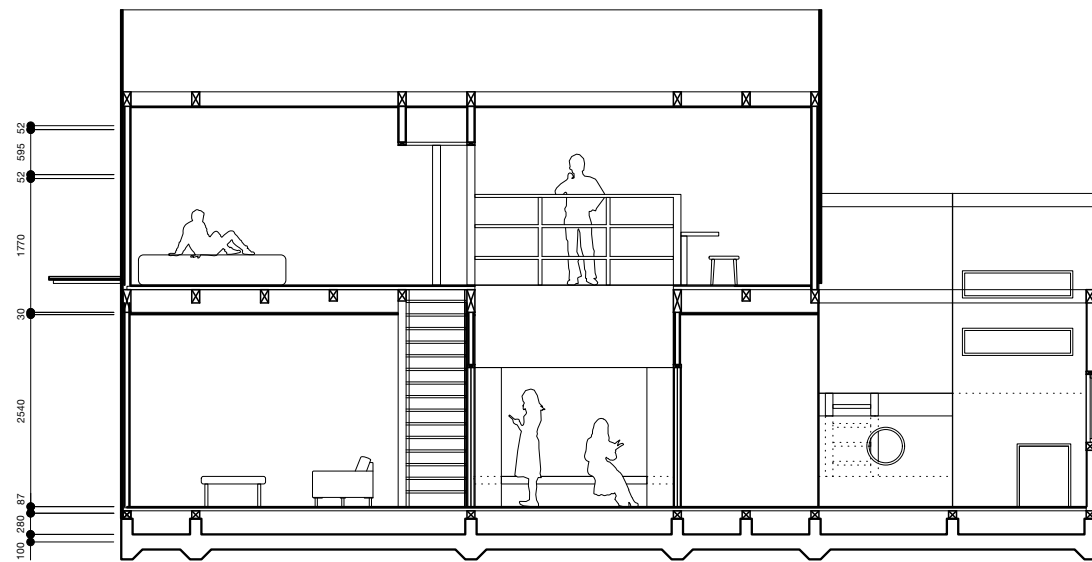
Plan

入口は「住人用」と「一般用」で分ける。
 住人が利用者空間を管理できるような動線・部屋配置とする。
 利用者空間の各スペースは可能な限り壁で区切らない。
 土間の作業スペースには既存の「はなれオフィス」の機能をもたせ、
 住人と利用者との交流を図る。
 「はなれオフィス」があった場所には広場的な空間を設け、
 子ども達がキャッチボールやバドミントンなどをして遊ぶことができる。

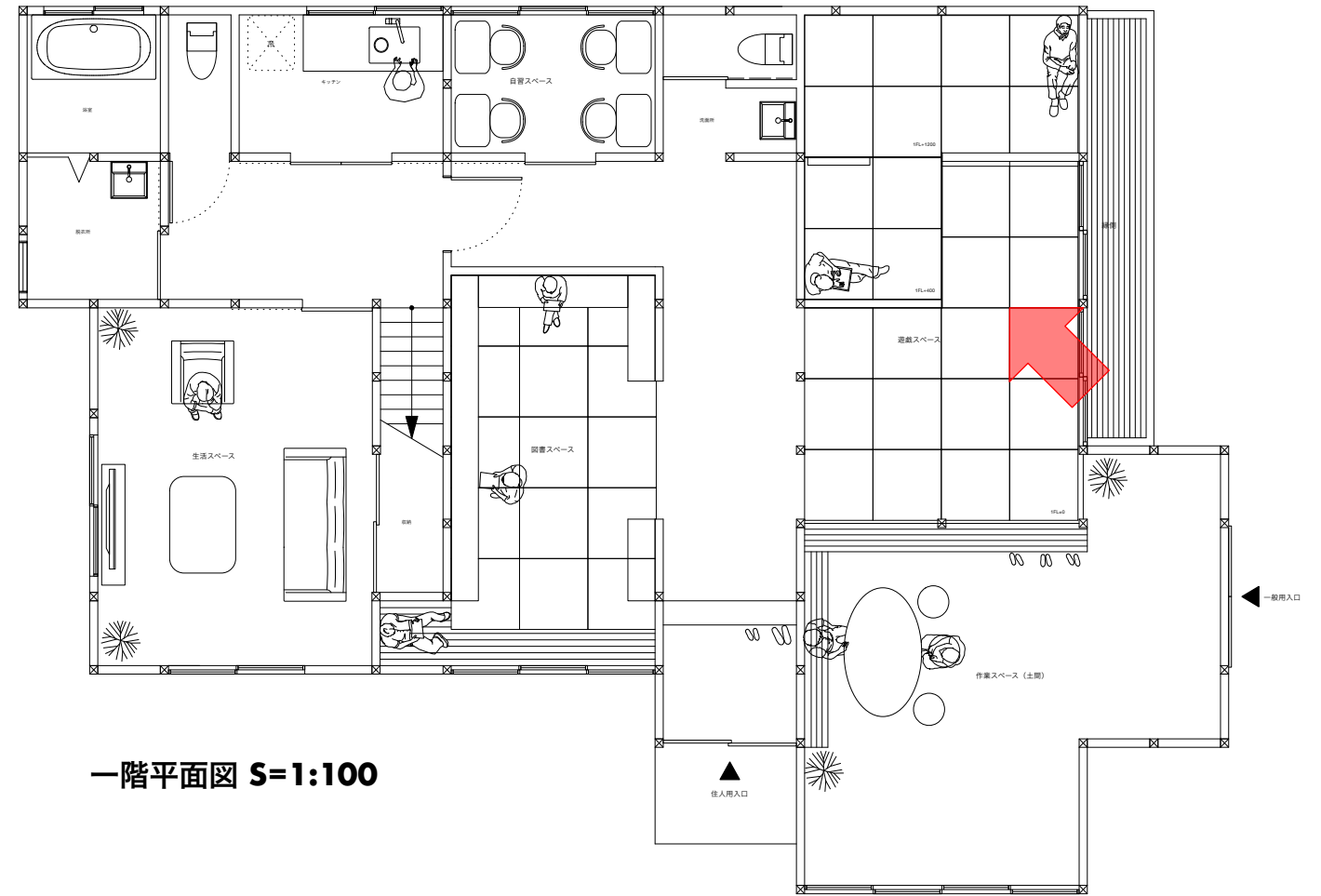


二階平面図 S=1:100

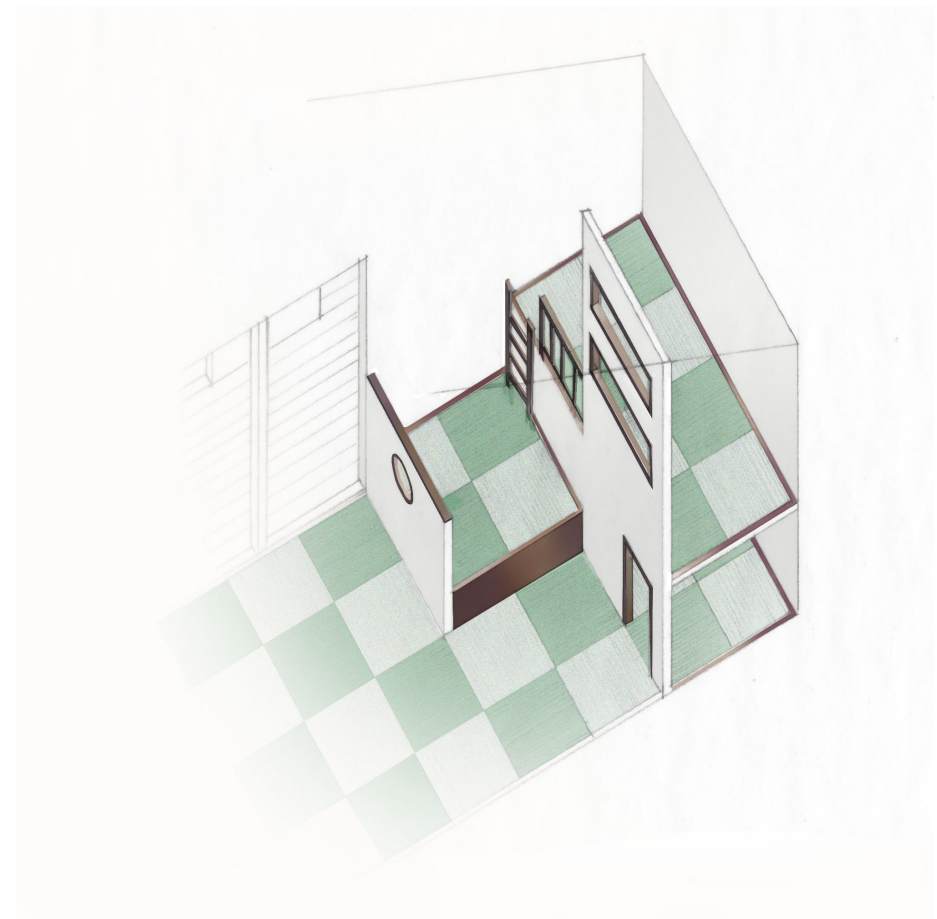
図書スペースの二階部分を吹き抜けとする。
 これにより、利用者には開放感を、
 住人は二階からの図書スペースの管理が可能になる。

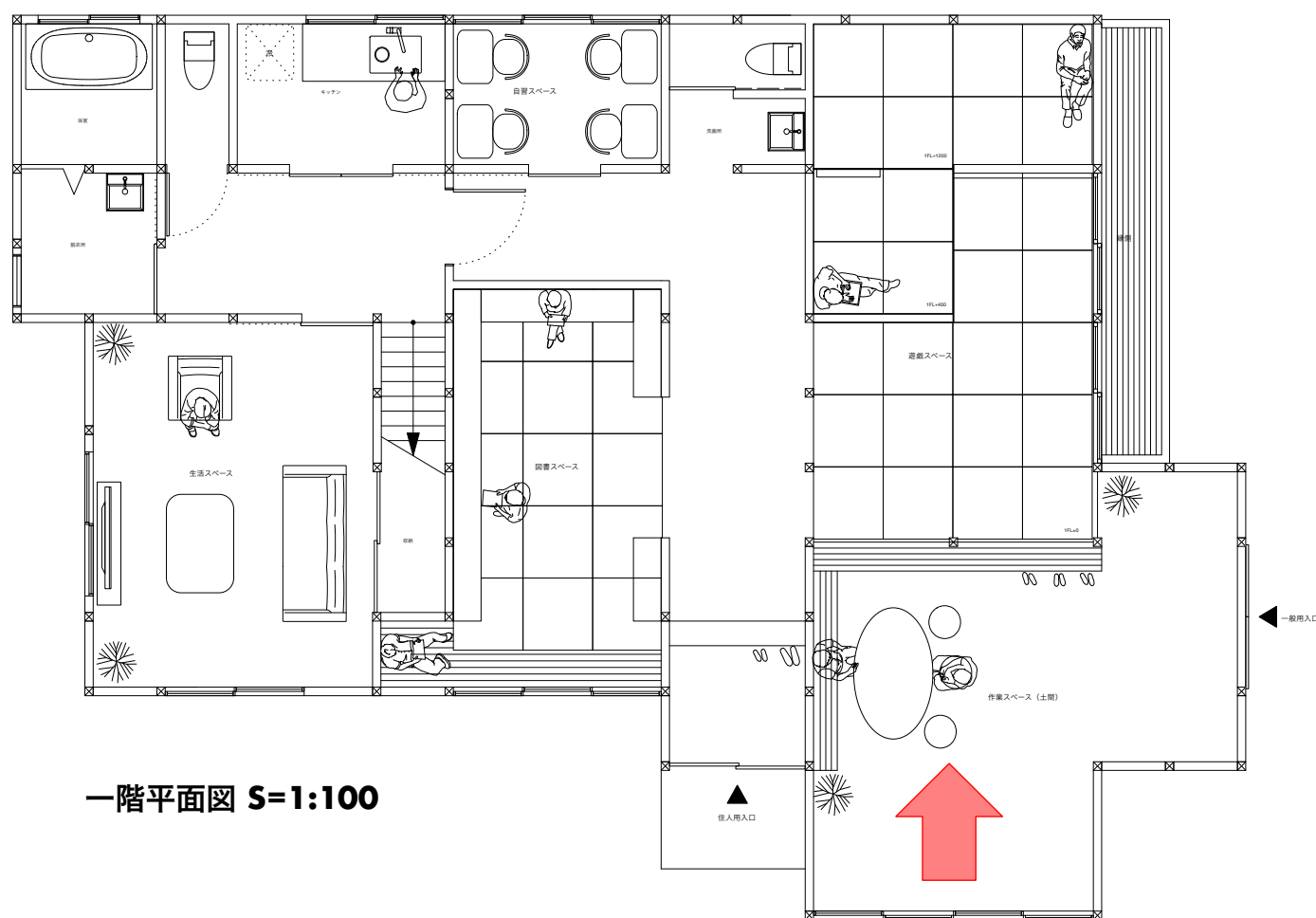


断面図 S=1:100



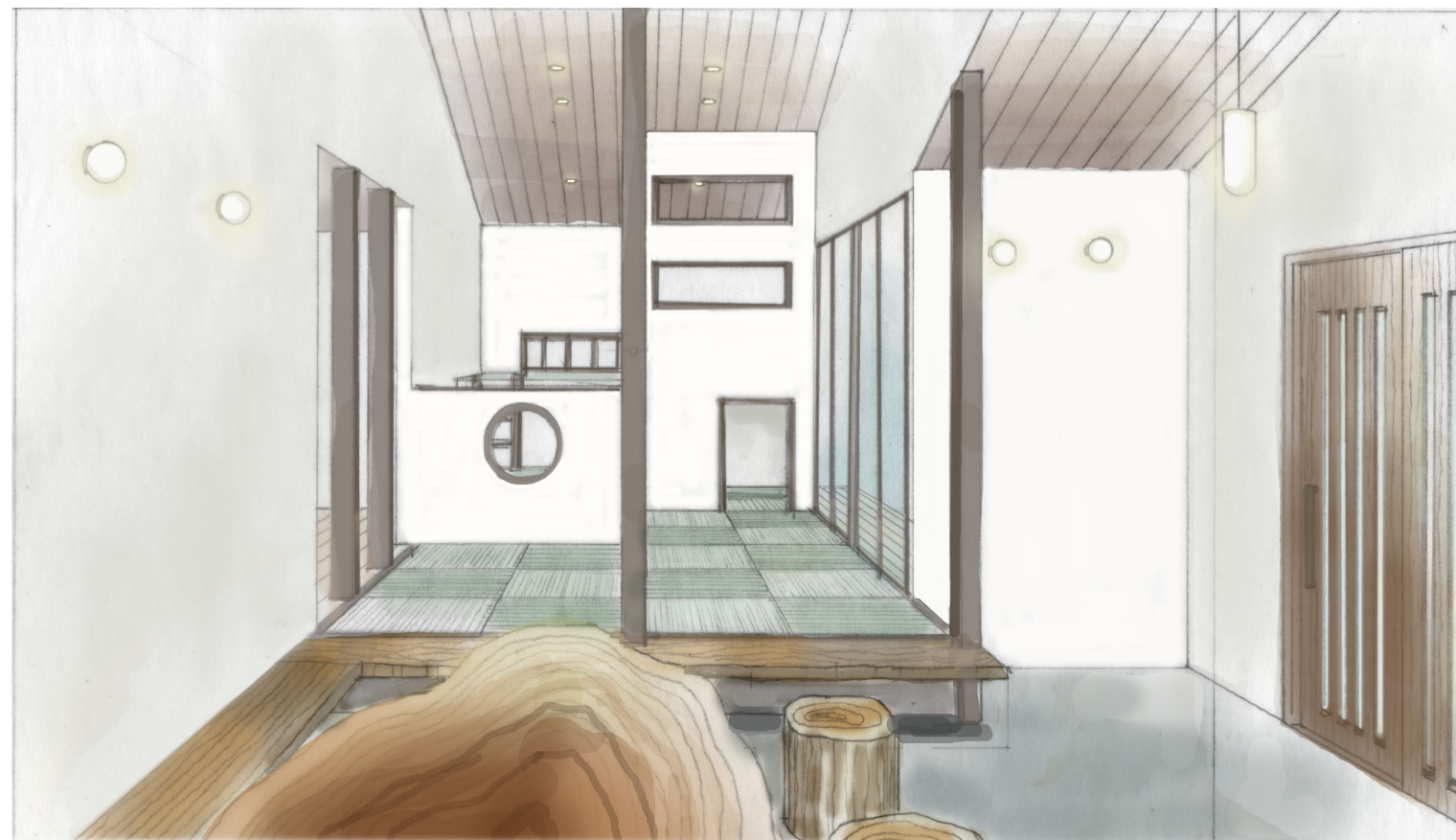
一階平面図 S=1:100



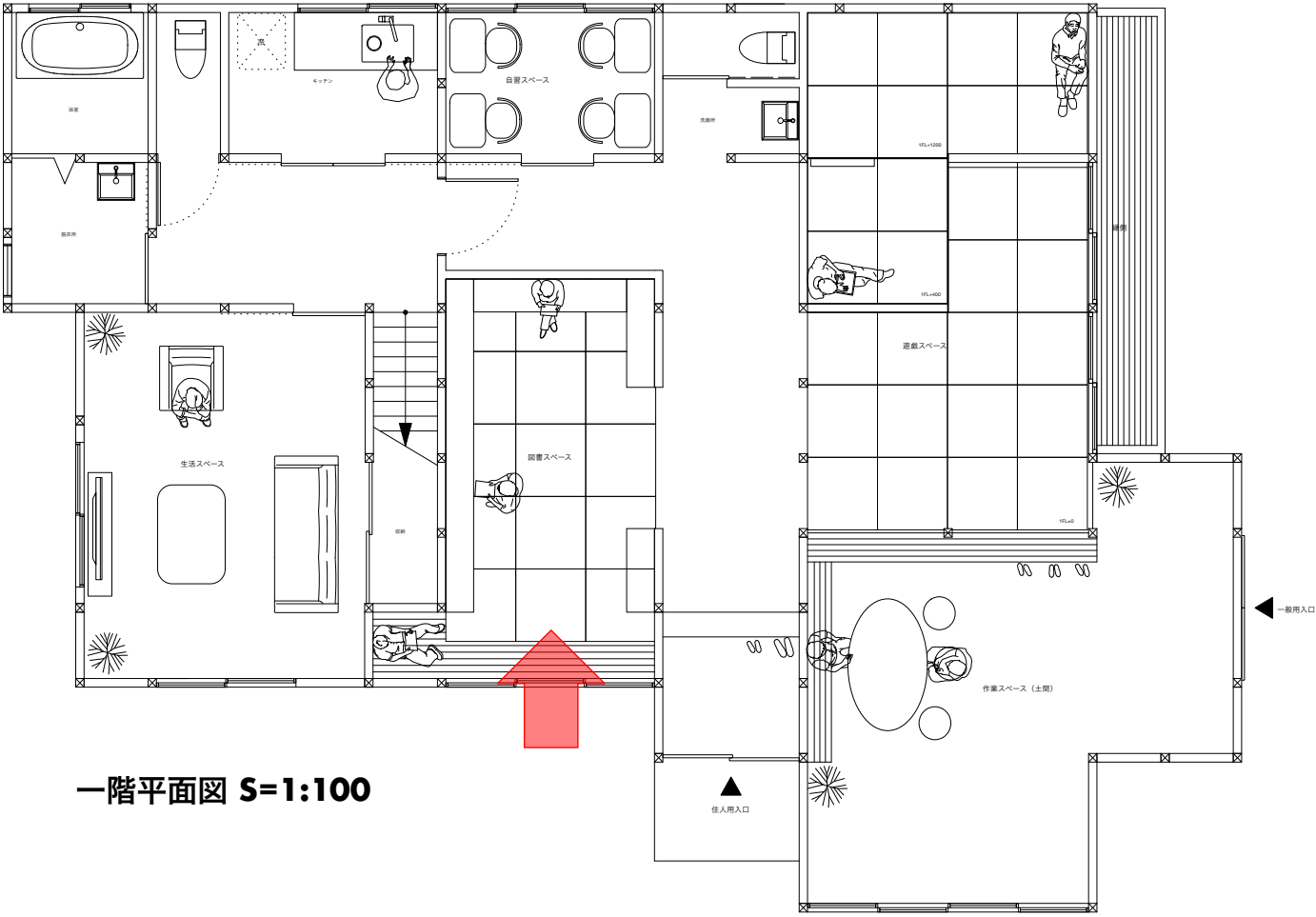


一階平面図 S=1:100

作業・遊戯スペースのパース



図書スペースのパーズ



一階平面図 S=1:100



04. 屋台づくり



はる
春だ!

3月20日 (水・祝)
13~16時
多町大通り

さあ、春だ！全員集合！！
みんなで外で遊ぼう！道で遊ぼう！
懐かしのあの遊びから、
流行りのこんな遊びまで
いろいろできるよ

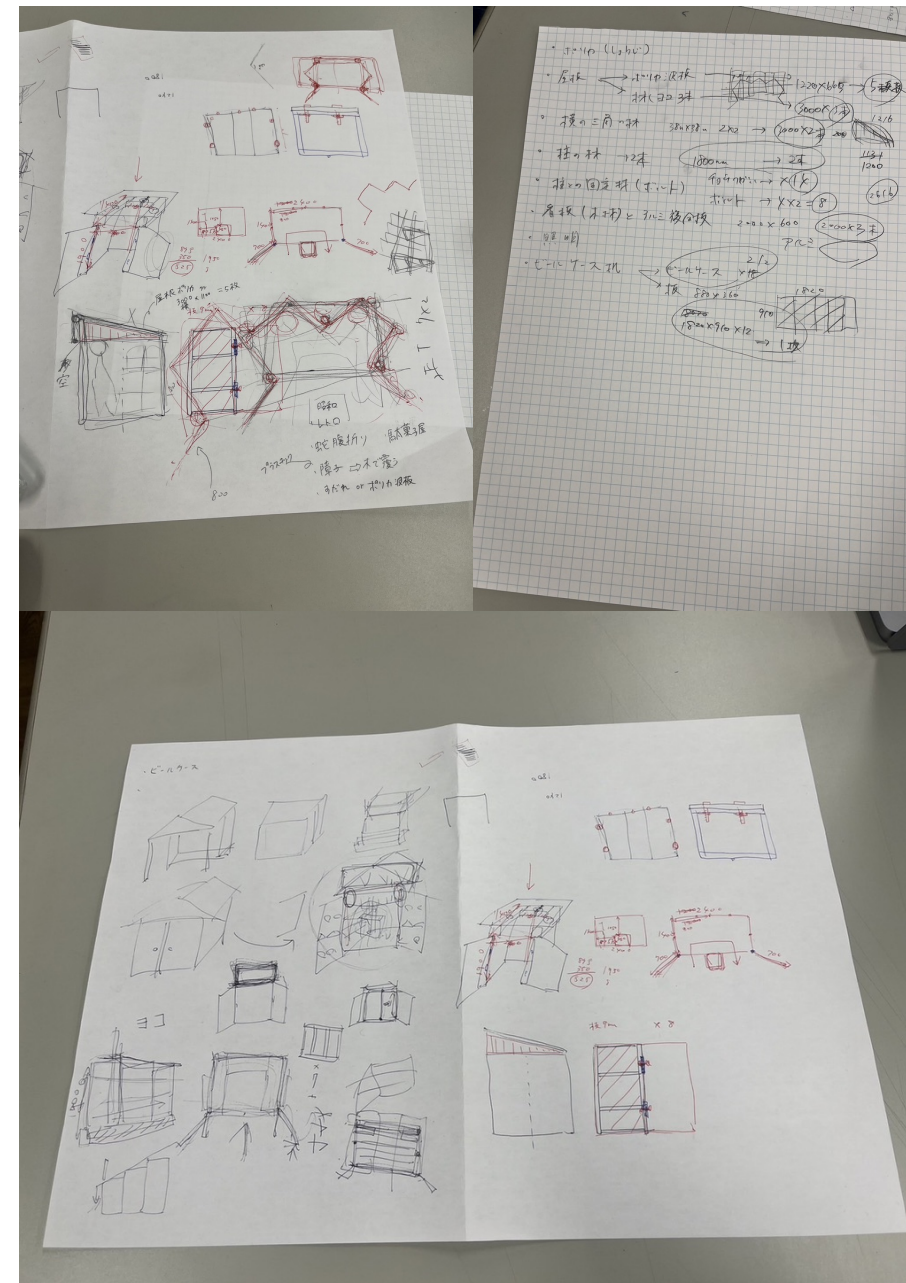
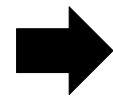
参加費無料

- ・かーびーの移動式あそび場がやってくる！
(竹コリント、車滑り台、積み木&おままごと、打楽器、
素材あそび、ガムテープアート、ニュースポーツ等)
- ・射的屋さん&駄菓子屋さん
- ・いろいろ昔あそび&4世代あそび場MAPづくり
- ・WANTED「多二の8人衆を探せ！」1億タニーをGETせよ!

*雨天縮小実施(荒天中止)
*小学生以下は、保護者同伴で来てね!
*自分の責任で自由に遊ぼう！ケガと水筒は自分持ち!
*はじめに受付して、名前と緊急連絡先を書いて、紙リストバンドもらってね!

主催:多町二丁目町会
協力:つむぎやさん(かーびー)
東京デザイナー学院
東京都市大学 (中島研)

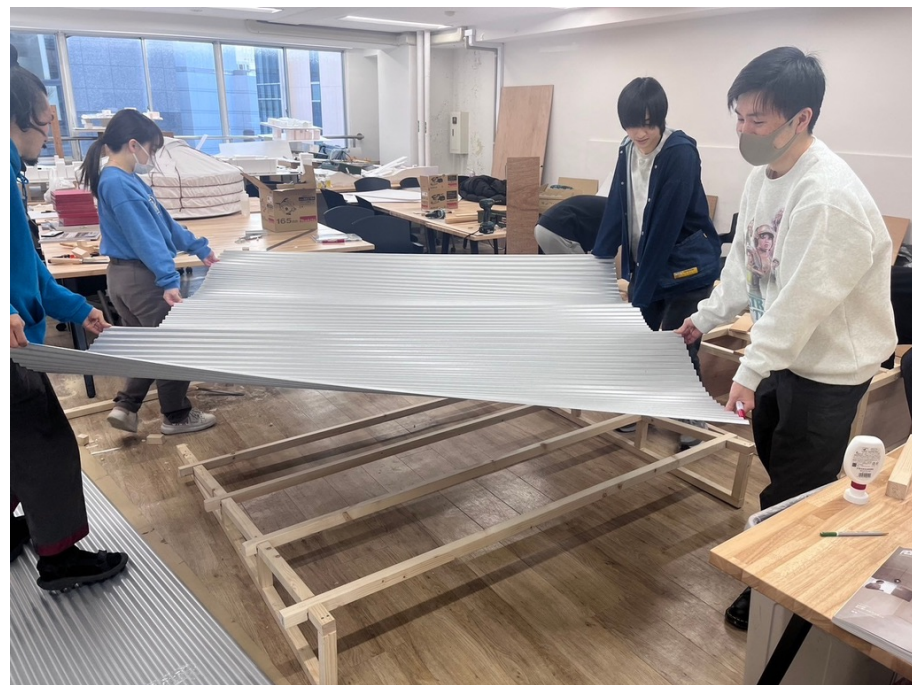
Concept, Plan



駄菓子屋案（パース上）と居酒屋案（パース下）。
子ども向けなので、駄菓子屋を採用。

話し合い、グループでイメージを共有。

Production



「製作しながら修正」を繰り返す。

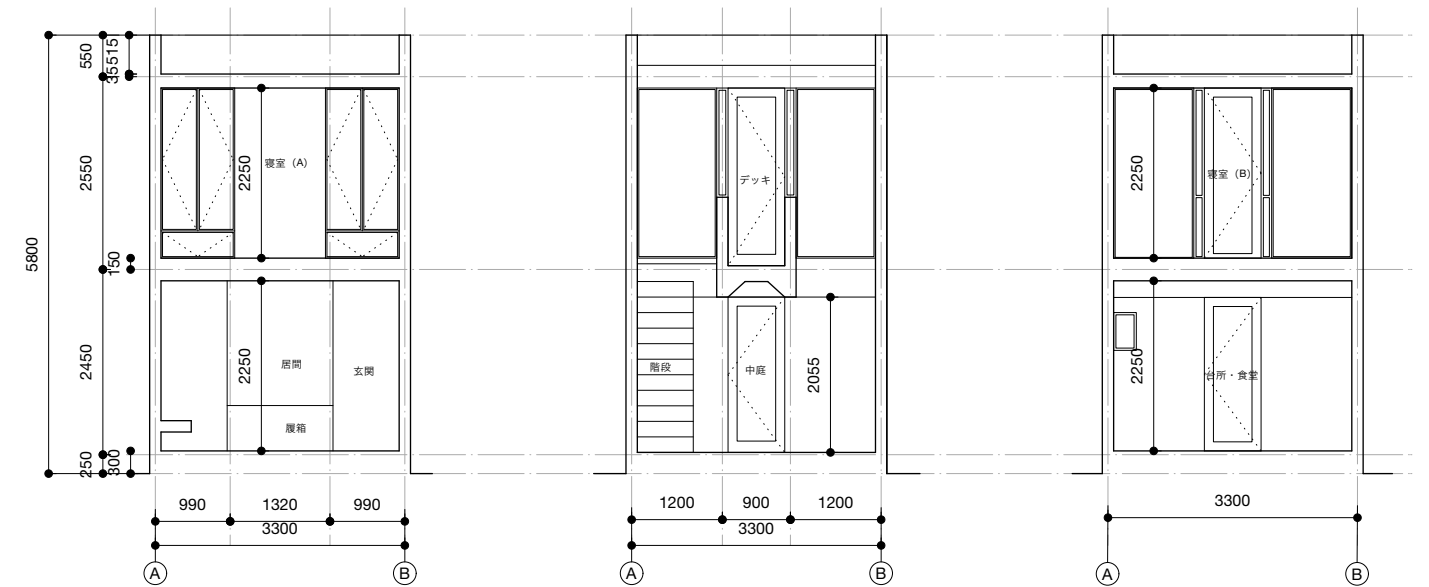
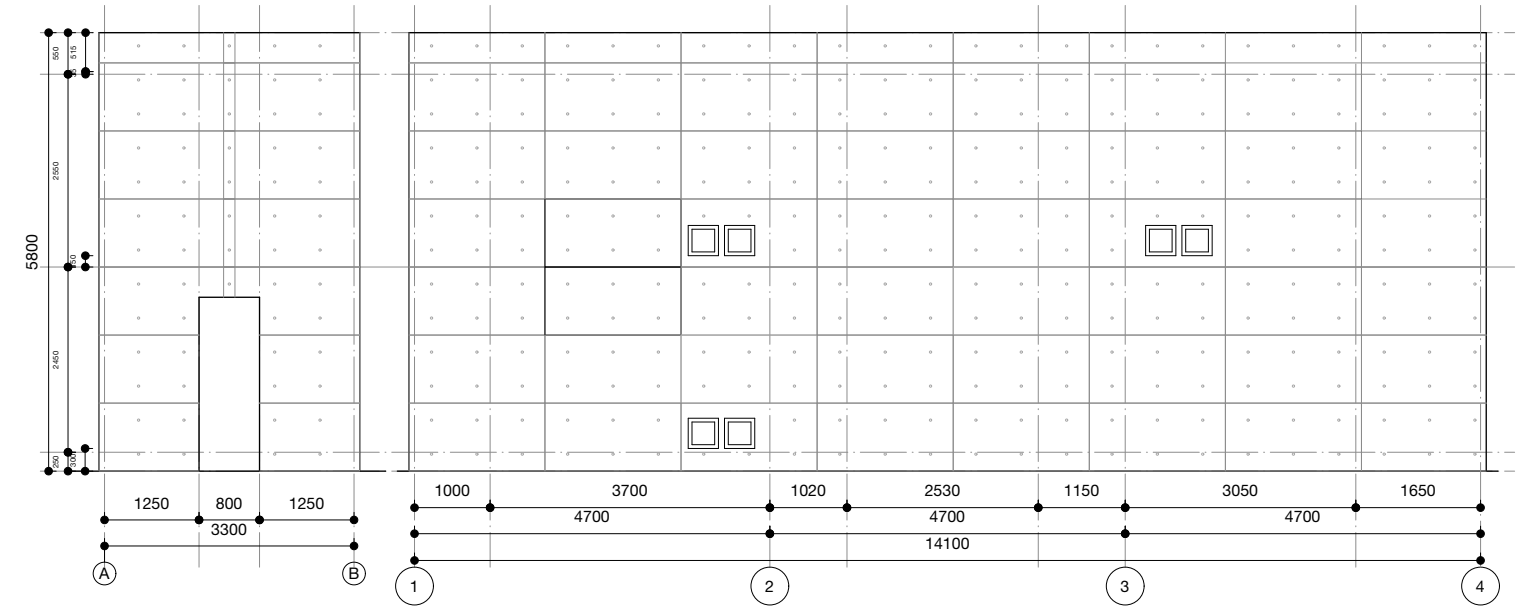
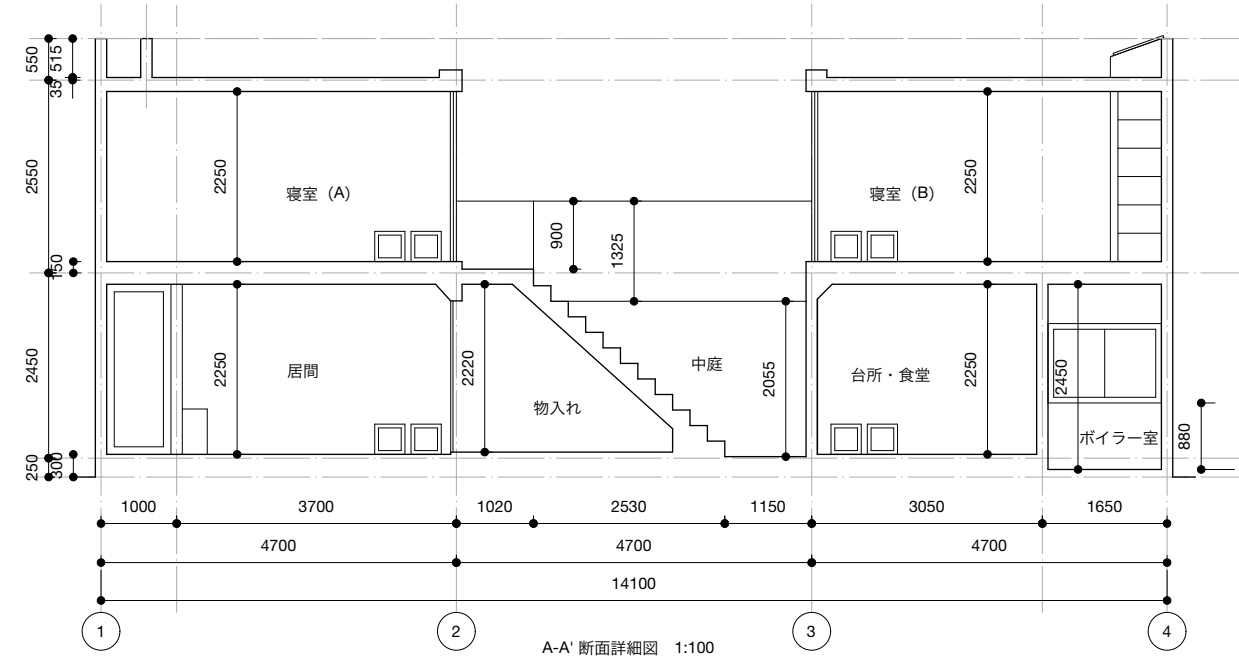
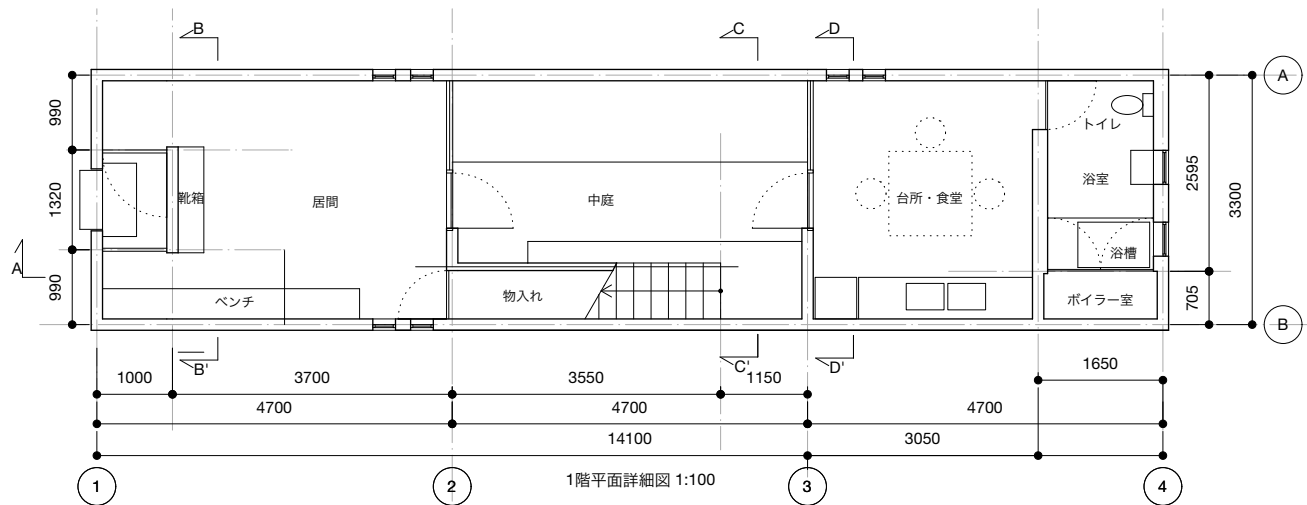
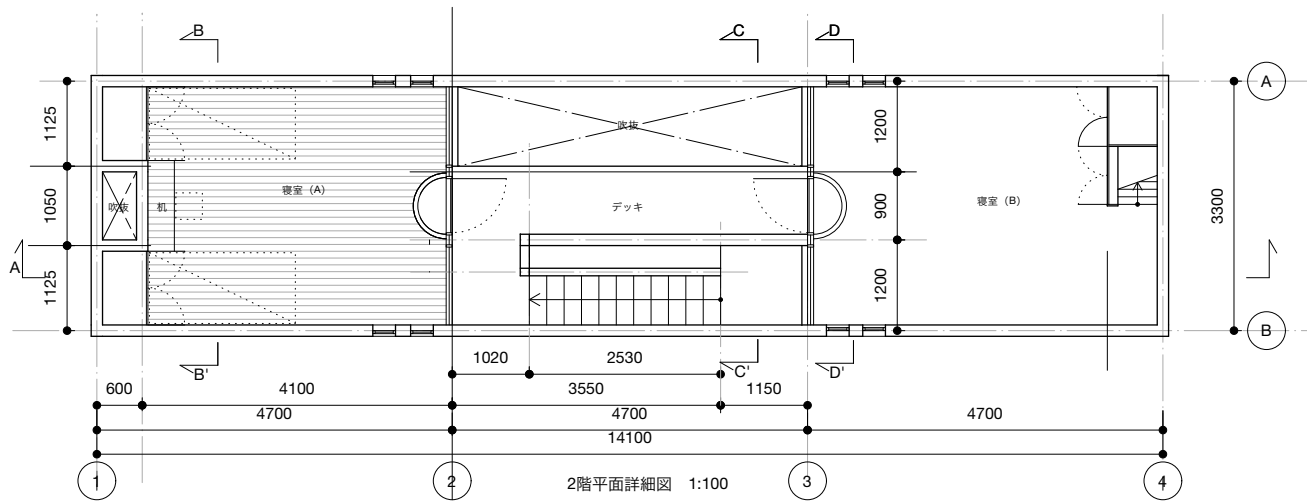
Setting, Operation



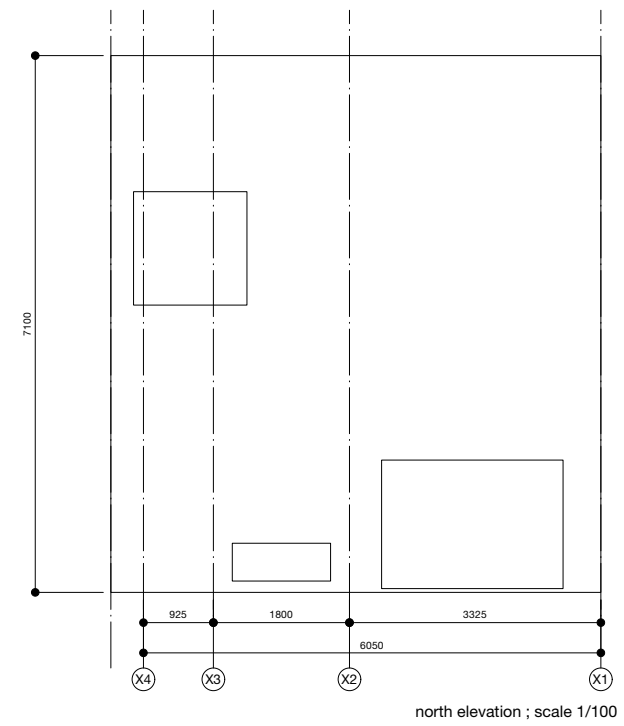
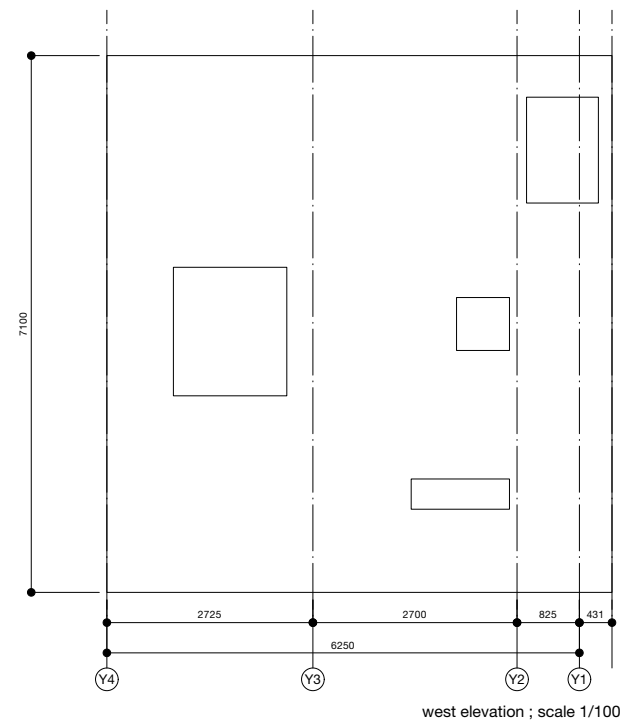
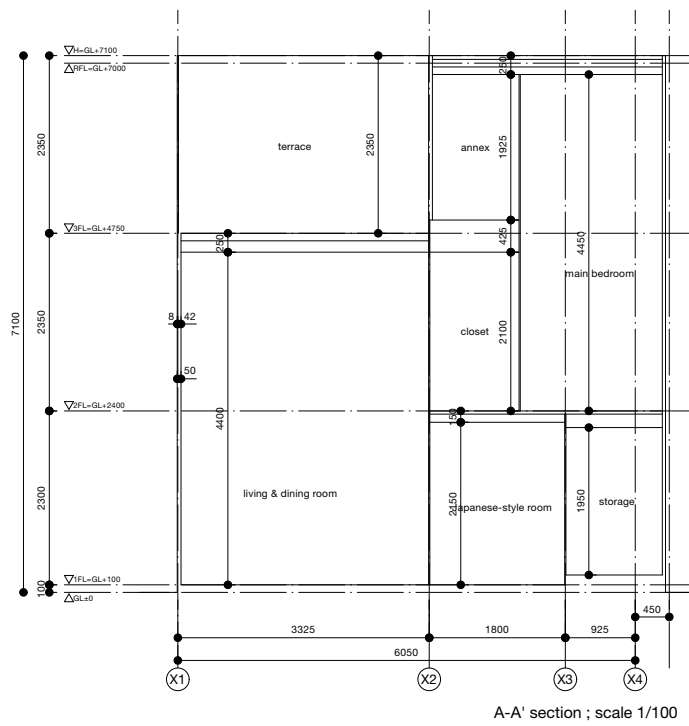
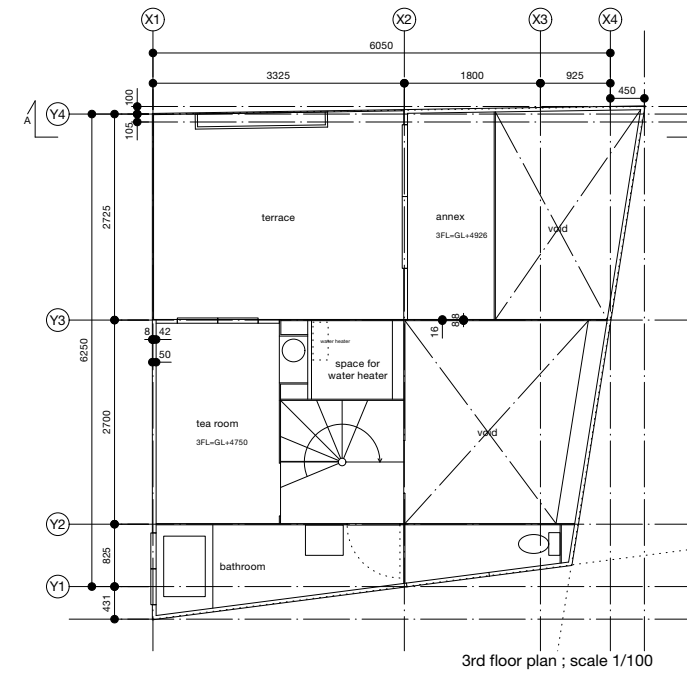
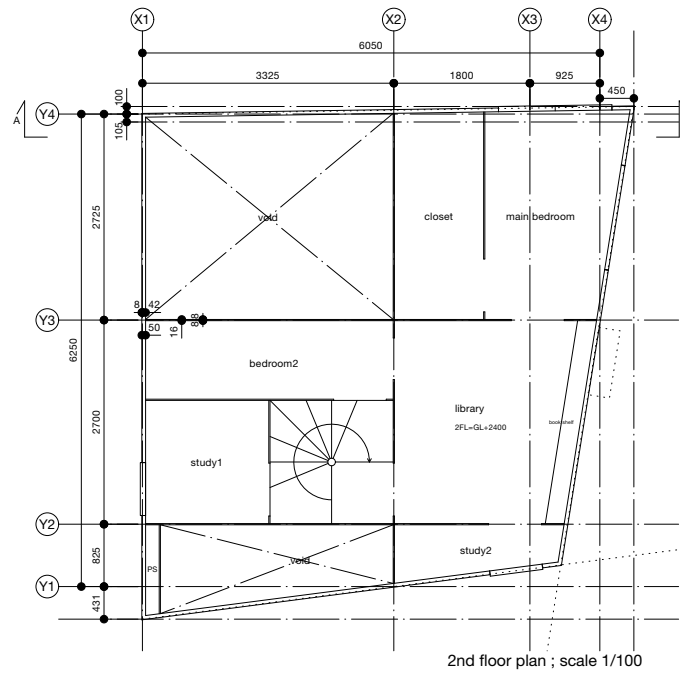
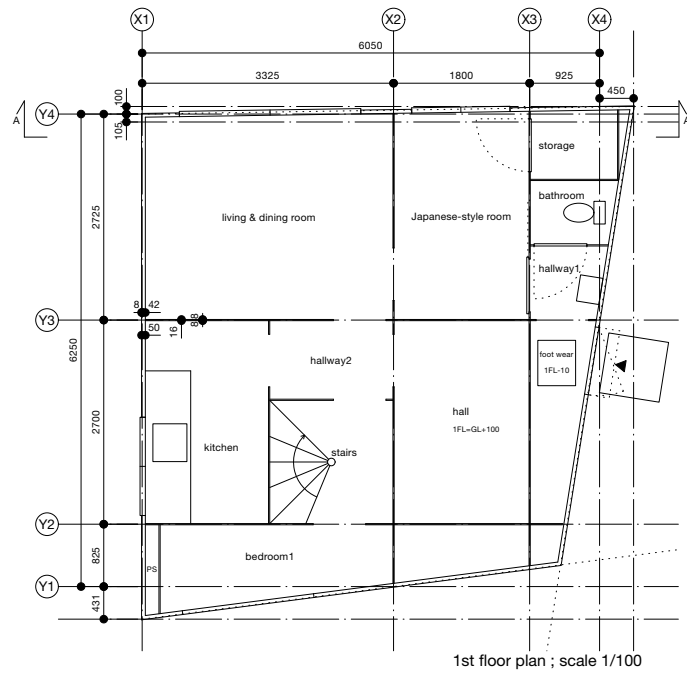
当日、大盛況で無事終了。

05. トレース

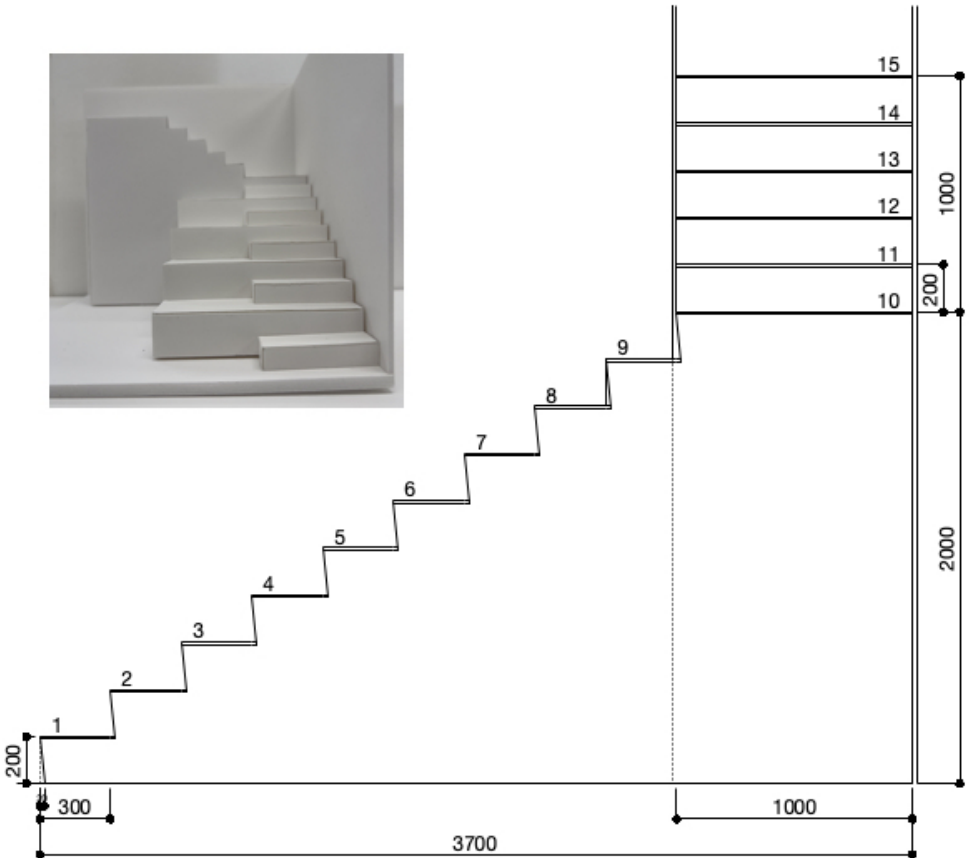
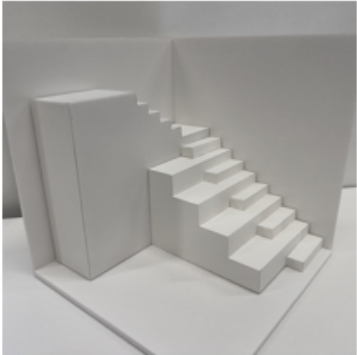
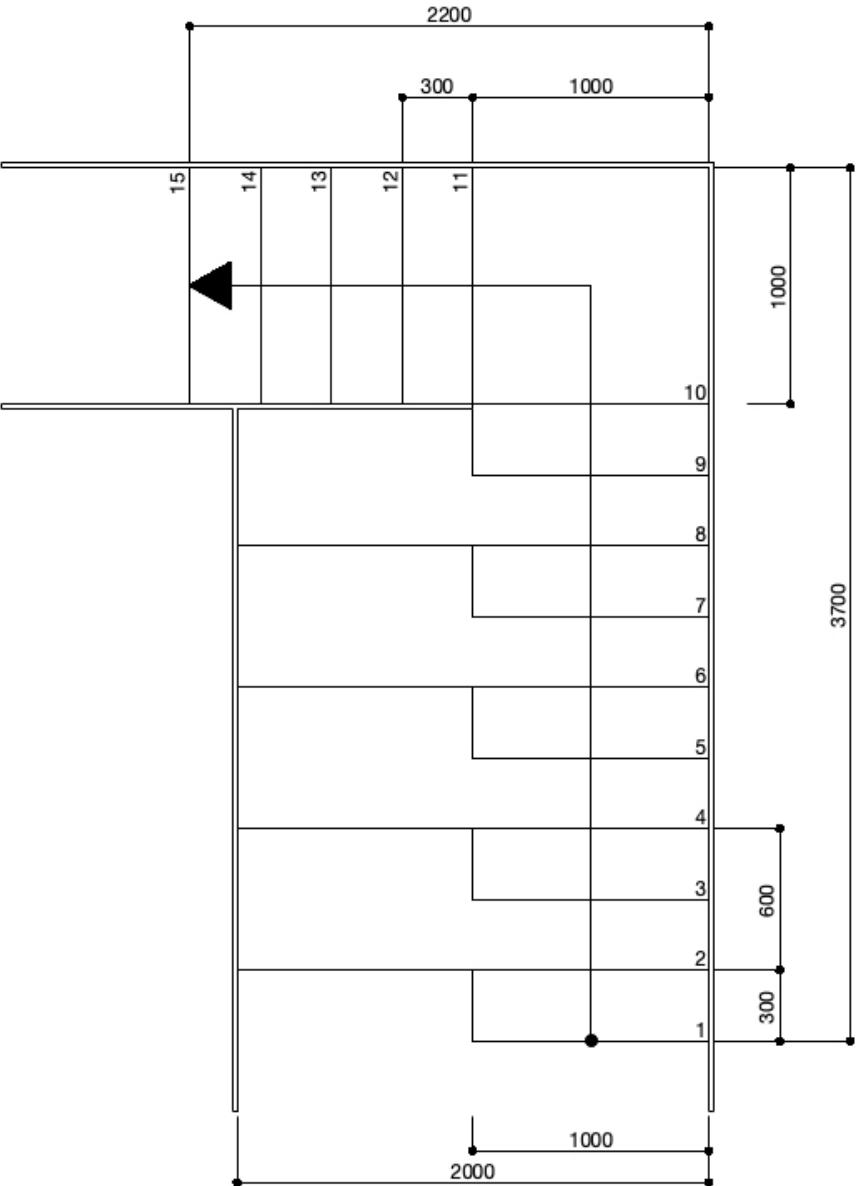
住吉の長屋：安藤忠雄



梅林の家：妹島和世

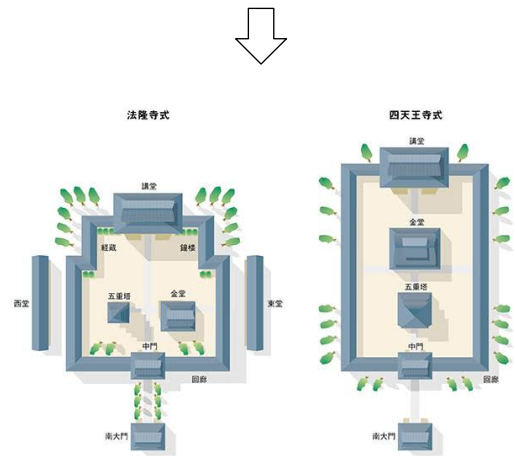


階段の設計



幼稚園設計

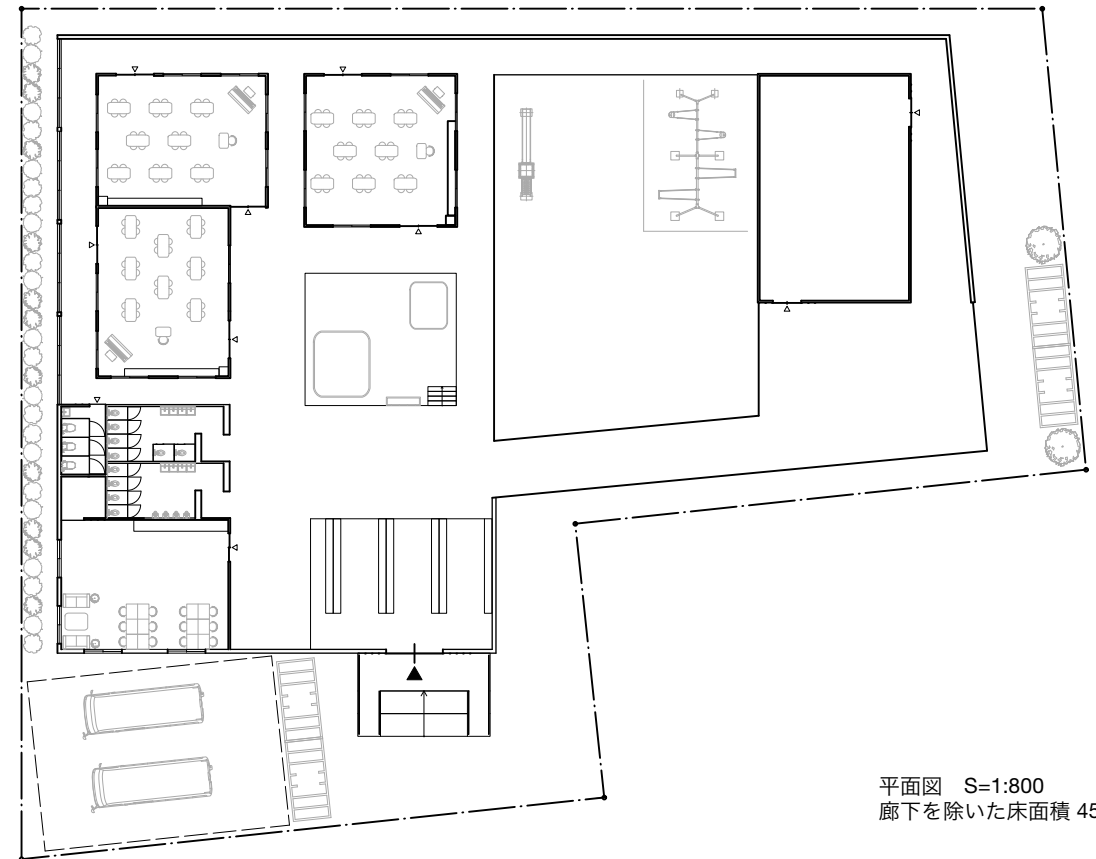
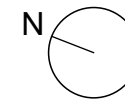
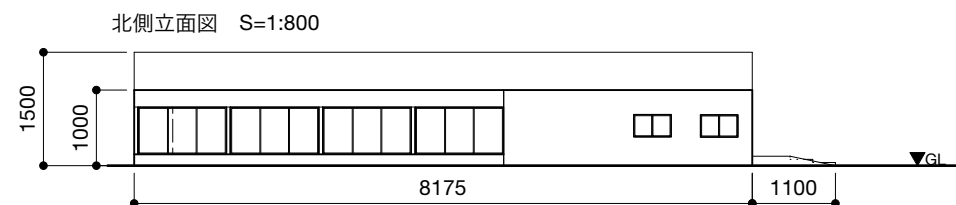
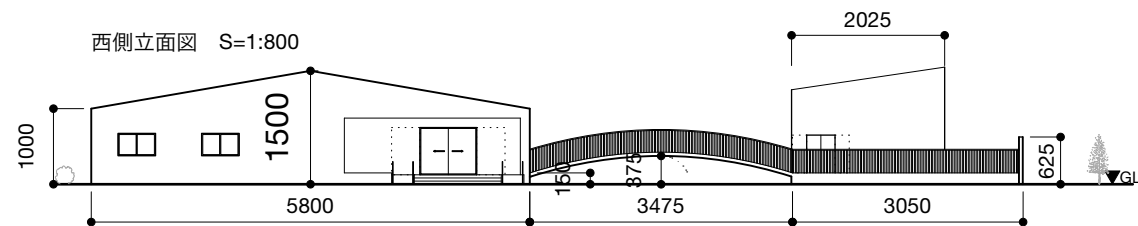
自分自身の幼稚園時代、園舎と離れを繋ぐ渡り廊下が印象的だったことから、廊下にフォーカスし設計に取り組んだ。



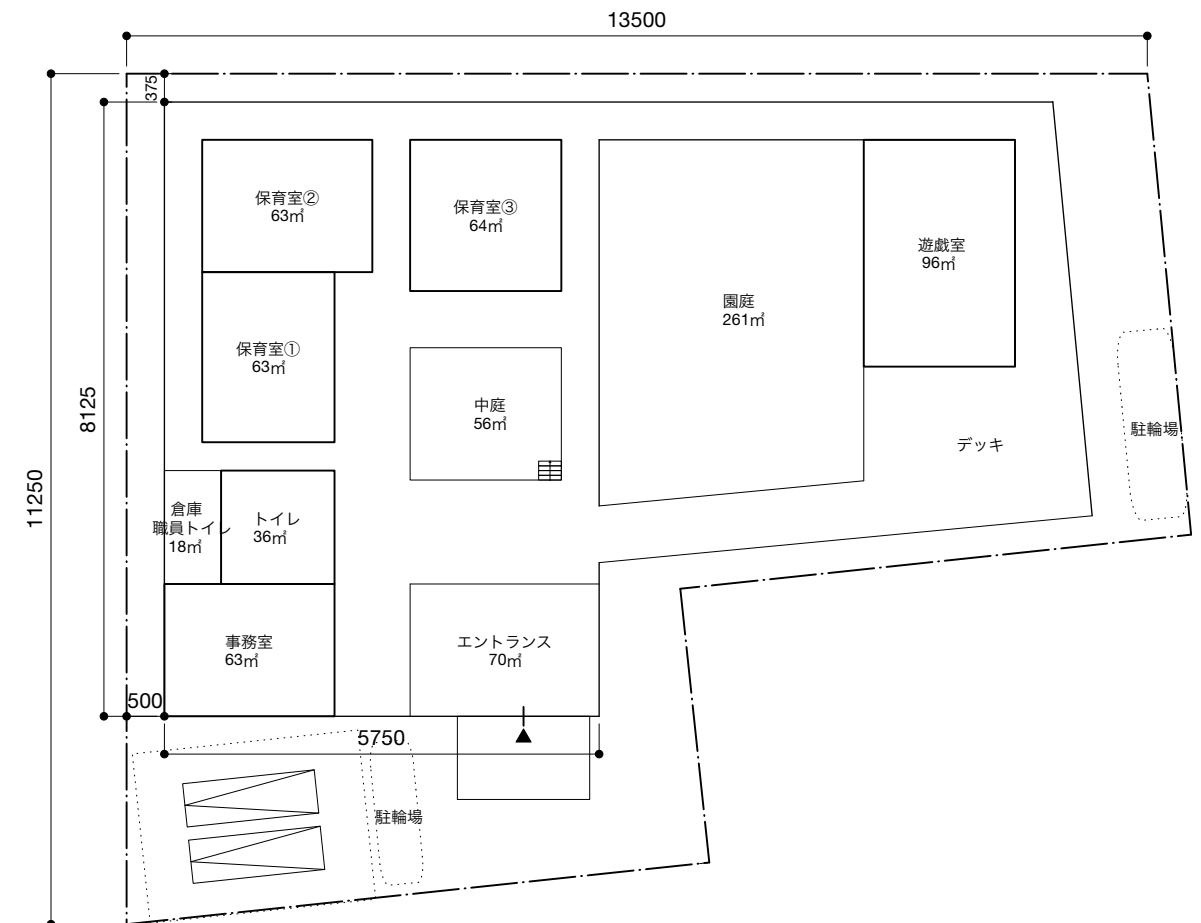
伽藍配置を参考に、廊下で敷地を囲むカタチをとる。これにより回遊性とプライバシーを確保する。



渡り廊下イメージパース



平面図 S=1:800
廊下を除いた床面積 455㎡





Thank you

Pando

